

平成 29 年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果

平成 31 年 3 月

独立行政法人 日本学生支援機構

< 目 次 >

I 調査の概要

II 調査結果

基礎情報

1. 奨学生本人の性別
2. 奨学本人の年齢
3. 奨学生本人の居住地
4. 奨学金の種類
5. 奨学金の貸与学種

1 回答者および奨学金申請に関すること

- | | |
|---------------------|-------|
| (1)回答者 | 表 1-1 |
| (2)奨学金申請時の書類作成者 | 表 1-2 |
| (3)だれに奨学金の申請を勧められたか | 表 1-3 |
| (4)奨学金申請を決めた時期 | 表 1-4 |
| (5)返還義務を知った時期 | 表 1-5 |

2 主な返還者について

- | | |
|-----------------------|---------------|
| (1)主な返還者 | 表 2-1 |
| (2)奨学金返還のための原資 | 表 2-2 |
| (3)主な返還者と返還のための原資との関係 | 表 2-3-1～2-3-2 |
| (4)学種と主な返還者との関係 | 表 2-4-1～2-4-2 |
| (5)同居している家族 | 表 2-5 |
| (6)年齢と同居している家族との関係 | 表 2-6-1～2-6-2 |

3 奨学生本人の職業について

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1)本人の職業 | 表 3-1-1～3-1-2 |
| (2)年齢と本人の職業との関係 | 表 3-2-1～3-2-2 |
| (3)学種と本人の職業との関係 | 表 3-3-1～3-3-2 |

4 奨学生本人の年収について

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1)本人の年収 | 表 4-1-1～4-1-2 |
| (2)本人の職業と年収との関係 | 表 4-2-1～4-2-2 |
| (3)年齢と本人の年収との関係 | 表 4-3-1～4-3-2 |
| (4)学種と本人の年収との関係 | 表 4-4-1～4-4-2 |

5	延滞の理由について※延滞者にのみ質問	
	(1)延滞が始まった理由(きっかけ)	表 5-1-1～5-1-2
	(2)延滞が継続している理由	表 5-2-1～5-2-3
	(3)延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由との関係	表 5-3
	(4)主な返還者と延滞が継続している理由との関係	表 5-4
	(5)本人の年収と延滞が継続している理由との関係	表 5-5
	(6)本人の職業と延滞が継続している理由との関係	表 5-6
6	返還期限の猶予制度について	
	(1)猶予制度の認知状況	表 6-1
	(2)年齢と猶予制度の認知状況との関係	表 6-2-1～6-2-2
	(3)本人の年収と猶予制度の認知状況との関係	表 6-3-1～6-3-2
	(4)猶予制度をどこから知ったか	表 6-4
	(5)猶予制度の申請状況	表 6-5
	(6)猶予申請をしない理由	表 6-6-1～6-6-2
7	減額返還制度について	
	(1)減額返還制度の認知状況	表 7-1
	(2)年齢と減額返還制度の認知状況との関係	表 7-2-1～7-2-2
	(3)本人の年収と減額返還制度の認知状況との関係	表 7-3-1～7-3-2
	(4)減額返還制度をどこから知ったか	表 7-4
	(5)減額返還制度の利用状況	表 7-5
8	無延滞者の状況※無延滞者にのみ質問	
	(1)延滞経験の有無	表 8-1
	(2)延滞になったことをどこから知ったか	表 8-2
	(3)延滞の解消方法	表 8-3
	(4)延滞をより早く解消できたと思われる方法	表 8-4
	(5)繰上返還制度の認知状況	表 8-5
	(6)個人信用情報機関への登録の認知状況	表 8-6
	(7)スカラネット・パーソナルの認知状況	表 8-7
9	日本学生支援機構からの情報提供について	
	(1)日本学生支援機構からの送付文書類の閲覧状況	表 9-1
	(2)日本学生支援機構のホームページの閲覧状況	表 9-2
	(3)日本学生支援機構からの情報提供について	表 9-3
10	日本学生支援機構の奨学金に対する意識	
	(1)奨学金がどのように役に立ったか	表 10-1-1～10-1-2
	(2)奨学金の返還は負担になっているか	表 10-2

(3)延滞への対応はきびしいと感じるか

表 10-3

(4)奨学金返還について

表 10-4

<調査票>

奨学金の返還に関するアンケート（延滞者用）

奨学金の返還に関するアンケート（無延滞者用）

（注意）

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
- 2 単位は人である。
- 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
- 4 複数回答の設問に関する表の各回答の比率は、合計しても 100%にならない。
※ 各回答の比率は回答者数の合計に対する比率である。
- 5 表区分の年度は、調査年度を表す。

I 調査の概要

1 目的

奨学金の延滞者および無延滞者の属性を把握し、今後の奨学金回収方策に役立てることとする。

2 調査対象

- (1) 平成 29 年 11 月末において、奨学金返還を 3 か月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）から無作為抽出した 19,628 人。
- (2) 平成 29 年 11 月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）から無作為抽出した 9,621 人。

3 調査方法

質問を記入した調査票を送付し、返信用封筒による返送またはインターネットにて調査質問への回答を求めた。

4 調査時期

平成 30 年 1 月

5 回答受入状況

	抽出人数	回答人数	回答率	参考母数(平成 29 年度末)
延滞者	19,628 人	3,329 人	17.0%	157 千人
無延滞者	9,621 人	2,296 人	23.9%	3,819 千人

※ 回答人数には無回答・不明回答を含まない。

(参考) 平成 29 年度末現在の状況

① 返還を要する者（返還期日到来分のみ）	4,155 千人
② 返還している者	3,819 千人
③ 1 日以上の延滞者	336 千人
④ 3 か月以上の延滞者	157 千人

Ⅱ 調査結果

基礎情報

1 奨学生本人の性別

(単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
男性	1,787	53.7%	1,097	47.8%
女性	1,542	46.3%	1,199	52.2%
計	3,329	100.0%	2,296	100.0%

2 奨学生本人の年齢

(単位：人)

年齢（歳）	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
20代以下	510	15.3%	1,271	55.4%
30代	1,761	52.9%	915	39.9%
40代	759	22.8%	91	4.0%
50代以上	299	9.0%	19	0.8%
計	3,329	100.0%	2,296	100.0%

3 奨学生本人の居住地域

(単位：人)

地域	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
北海道	151	4.5%	103	4.5%
東北	297	8.9%	186	8.1%
関東（東京除く）	527	15.8%	487	21.2%
東京	390	11.7%	257	11.2%
甲信越（山梨、長野、新潟）	91	2.7%	95	4.1%
東海（静岡、愛知、三重、岐阜）	181	5.4%	219	9.5%
北陸	29	0.9%	43	1.9%
近畿	590	17.7%	406	17.7%
中国	202	6.1%	155	6.8%
四国	92	2.8%	66	2.9%
九州・沖縄	779	23.4%	279	12.2%
計	3,329	100.0%	2,296	100.0%

4 奨学金の種類

(単位：人)

種別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
第一種	1,640	49.3%	991	43.2%
第二種	1,689	50.7%	1,305	56.8%
計	3,329	100.0%	2,296	100.0%

5 奨学金の貸与学種

(単位：人)

学種	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高等学校	672	20.2%	49	2.1%
高等専門学校	9	0.3%	98	4.3%
短期大学	266	8.0%	132	5.7%
大学	1,671	50.2%	1,325	57.7%
大学院	131	3.9%	279	12.2%
専修学校専門課程	569	17.1%	393	17.1%
専修学校高等課程	11	0.3%	20	0.9%
計	3,329	100.0%	2,296	100.0%

1 回答者および奨学金申請に関すること

(1)回答者（択一）

アンケート調査に回答した者は、延滞者、無延滞者ともに、おおよそ4分の3が「奨学生本人」、5分の1が「本人の親」である。

表 1-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2,463	74.5%	1,754	76.7%
本人の親	742	22.4%	503	22.0%
本人の配偶者・パートナー	94	2.8%	30	1.3%
その他	8	0.2%	1	0.0%
計	3,307	100.0%	2,288	100.0%
無回答	22		8	

(2)奨学金申請時の書類作成者（択一）

奨学金申請時の書類作成者は、無延滞者では「奨学生本人」が54.8%であるのに対し、延滞者では35.5%と低い。また、「奨学生本人」と「本人と親等」を合わせてみると、無延滞者では76.9%と4分の3以上が申請時の書類作成に奨学生本人が関わっているのに対し、延滞者では56.5%と約半数しか申請時の書類作成に奨学生本人が関わっていない。

表 1-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,178	35.5%	1,257	54.8%
親(または祖父母等の家族、親戚)	1,202	36.2%	491	21.4%
本人と親等	697	21.0%	508	22.1%
その他	19	0.6%	3	0.1%
わからない	222	6.7%	36	1.6%
計	3,318	100.0%	2,295	100.0%
無回答	11		1	

(3)だれに奨学金の申請を勧められたか（択一）

奨学金の申請を勧めた者については、延滞者、無延滞者ともに、「親（または祖父母等の家族、親戚）」の比率が最も高く、半数以上を占めている。一方、「学校の先生や職員が勧めた」の比率は、延滞者では15.7%、無延滞者では4.9%と、延滞者の方が無延滞者に比べて高い。

表 1-3

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人が自分で決めた	697	21.0%	648	28.2%
親(または祖父母等の家族、親戚)が勧めた	1,854	55.9%	1,495	65.2%
学校の先生や職員が勧めた	519	15.7%	113	4.9%
友人・知人が勧めた	36	1.1%	11	0.5%
上記以外の方が勧めた	7	0.2%	0	0.0%
計	3,314	100.0%	2,294	100.0%
無回答	15		2	

(4)奨学金申請を決めた時期（択一）

大学、短期大学、専修学校（専門課程）で奨学金の貸与を受けた者に、奨学金申請を決めた時期を質問した。

延滞者、無延滞者ともに「高校3年生の時点」の比率が最も高く、次に「高校卒業後」である。ただし、無延滞者の方が延滞者より「高校3年生の時点」の比率が高く、延滞者の方が無延滞者より「高校卒業後」の比率が高い。

表 1-4

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高校入学より前	97	4.0%	102	5.6%
高校1年生の時点	54	2.2%	27	1.5%
高校2年生の時点	67	2.7%	124	6.8%
高校3年生の時点	1,026	42.0%	970	53.2%
高校卒業後	899	36.8%	506	27.8%
わからない	300	12.3%	94	5.2%
計	2,443	100.0%	1,823	100.0%
無回答	63		27	

(5)返還義務を知った時期（択一）

返還義務を知った時期は、無延滞者では「申込手続きを行う前」が89.0%と9割近いのに対し、延滞者では50.9%と約半数にとどまり、申込手続きまでの認識が十分でないことがうかがえる。また、延滞者では、貸与終了後に返還義務を知った者の合計は19.1%で、その半数以上の10.7%は「延滞督促を受けてから」知ったと回答している。

表 1-5 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,677	50.9%	2,041	89.0%
申込手続中	456	13.9%	129	5.6%
貸与中	225	6.8%	64	2.8%
貸与終了時	109	3.3%	13	0.6%
貸与終了後～返還開始前	130	3.9%	19	0.8%
返還開始～督促前	148	4.5%	7	0.3%
延滞督促を受けてから	351	10.7%	3	0.1%
その他	35	1.1%	1	0.0%
わからない	161	4.9%	15	0.7%
計	3,292	100.0%	2,292	100.0%
無回答	37		4	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,408	50.5%	1,478	51.2%	1,790	49.5%	2,243	56.1%
申込手続中	372	13.3%	367	12.7%	468	12.9%	410	10.2%
貸与中	186	6.7%	184	6.4%	239	6.6%	211	5.3%
貸与終了時	102	3.7%	87	3.0%	127	3.5%	129	3.2%
貸与終了後～返還開始前	134	4.8%	116	4.0%	181	5.0%	181	4.5%
返還開始～督促前	124	4.4%	158	5.5%	181	5.0%	164	4.1%
延滞督促を受けてから	322	11.5%	314	10.9%	355	9.8%	377	9.4%
その他	9	0.3%	28	1.0%	39	1.1%	35	0.9%
わからない	132	4.7%	155	5.4%	239	6.6%	251	6.3%
計	2,789	100.0%	2,887	100.0%	3,619	100.0%	4,001	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	2,133	89.1%	2,752	88.6%	1,951	90.3%	2,319	92.5%
申込手続中	136	5.7%	181	5.8%	114	5.3%	98	3.9%
貸与中	67	2.8%	76	2.4%	40	1.9%	33	1.3%
貸与終了時	15	0.6%	19	0.6%	14	0.6%	12	0.5%
貸与終了後～返還開始前	23	1.0%	20	0.6%	16	0.7%	16	0.6%
返還開始～督促前	3	0.1%	13	0.4%	2	0.1%	6	0.2%
延滞督促を受けてから	6	0.3%	3	0.1%	4	0.2%	4	0.2%
その他	0	0.0%	7	0.2%	2	0.1%	3	0.1%
わからない	12	0.5%	34	1.1%	17	0.8%	17	0.7%
計	2,395	100.0%	3,105	100.0%	2,160	100.0%	2,508	100.0%

2 主な返還者について

(1)主な返還者（択一）

「奨学生本人」が返還している比率は、延滞者では67.5%であるのに対し、無延滞者では84.3%である。一方、「本人の親」が返還している比率は、延滞者では21.1%で、無延滞者の12.2%に比べて高い。

表 2-1 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2,238	67.5%	1,935	84.3%
本人の親	700	21.1%	280	12.2%
本人の配偶者・パートナー	69	2.1%	70	3.1%
その他	18	0.5%	10	0.4%
現在は返還できていない	290	8.7%	-	-
計	3,315	100.0%	2,295	100.0%
無回答	14		1	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,915	68.1%	2,075	72.2%	2,410	65.2%	2,629	65.1%
本人の親	511	18.2%	750	25.7%	1,151	31.1%	1,243	30.8%
本人の配偶者・パートナー	69	2.5%	50	1.7%	52	1.4%	93	2.3%
その他	8	0.3%	40	1.4	83	2.2	71	1.8
現在は返還できていない	307	10.9%	-	-	-	-	-	-
計	2,810	100.0%	2,915	100.0%	3,696	100.0%	4,036	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	2,045	85.2%	2,669	85.9%	1,808	83.8%	2,110	84.1%
本人の親	280	11.7%	356	11.5%	300	13.9%	326	13.0%
本人の配偶者・パートナー	74	3.1%	72	2.3%	42	1.9%	67	2.7%
その他	0	0.0%	10	0.4	8	0.4	7	0.3
計	2,399	100.0%	3,107	100.0%	2,158	100.0%	2,510	100.0%

※平成28年度より選択肢を変更し、延滞者の選択肢に「現在は返還できていない」を追加した。

(2) 奨学金返還のための原資（択一）

奨学金返還のための原資は、延滞者、無延滞者ともに、「給与など働いて得る収入」が最も高い。一方、延滞者では「年金」の比率が9.7%と、無延滞者の1.3%に比べて高い。

表 2-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
給与など働いて得る収入	2,510	84.0%	2,171	94.7%
預貯金	59	2.0%	85	3.7%
年金	291	9.7%	30	1.3%
公的な補助金・給付金	17	0.6%	1	0.0%
その他	112	3.7%	5	0.2%
計	2,989	100.0%	2,292	100.0%
無回答	50		4	

※延滞者は「(1) 主な返還者」において「現在は返還できていない」と回答した人を除いて集計した。

(3) 主な返還者と返還のための原資との関係

主な返還者と返還のための原資との関係を見ると、主な返還者がいずれの場合も「給与など働いて得る収入」の比率が最も高い。一方、主な返還者が「本人の親」の場合は、「年金」を原資としている比率が他の返還者に比べて高い。

表 2-3-1 主な返還者×原資【延滞者】

(単位：人)

原資	奨学生本人		本人の親		本人の配偶者・パートナー		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
給与など働いて得る収入	2,057	92.7%	376	54.8%	65	97.0%	12	75.0%
預貯金	48	2.2%	10	1.5%	1	1.5%	0	0.0%
年金	19	0.9%	270	39.4%	0	0.0%	2	12.5%
公的な補助金・給付金	9	0.4%	8	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
その他	87	3.9%	22	3.2%	1	1.5%	2	12.5%
計	2,220	100.0%	686	100.0%	67	100.0%	16	100.0%

表 2-3-2 主な返還者×原資【無延滞者】

(単位：人)

原資	奨学生本人		本人の親		本人の配偶者・パートナー		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
給与など働いて得る収入	1,858	96.2%	234	83.9%	69	98.6%	9	90.0%
預貯金	71	3.7%	12	4.3%	1	1.4%	1	10.0%
年金	1	0.1%	29	10.4%	0	0.0%	0	0.0%
公的な補助金・給付金	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	0.1%	4	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,932	100.0%	279	100.0%	70	100.0%	10	100.0%

(4)学種と主な返還者との関係

学種と主な返還者との関係を見ると、延滞者、無延滞者ともに上級校ほど「奨学生本人」が返還している比率が高い傾向がある。なお、延滞者の高等学校で「本人の親」が返還している比率が特に高い。

表 2-4-1 学種×主な返還者【延滞者】

学種 主な返還者	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	360	53.9%	8	88.9%	169	64.0%
本人の親	209	31.3%	0	0.0%	57	21.6%
本人の配偶者・パートナー	24	3.6%	0	0.0%	10	3.8%
その他	6	0.9%	0	0.0%	1	0.4%
現在は返還できていない	69	10.3%	1	11.1%	27	10.2%
計	668	100.0%	9	100.0%	264	100.0%

(単位：人)

学種 主な返還者	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,199	72.0%	111	84.7%	383	67.5%	8	72.7%
本人の親	309	18.6%	14	10.7%	109	19.2%	2	18.2%
本人の配偶者・パートナー	25	1.5%	0	0.0%	10	1.8%	0	0.0%
その他	10	0.6%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
現在は返還できていない	122	7.3%	6	4.6%	64	11.3%	1	9.1%
計	1,665	100.0%	131	100.0%	567	100.0%	11	100.0%

表 2-4-2 学種×主な返還者【無延滞者】

学種 主な返還者	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	38	77.6%	84	85.7%	109	82.6%
本人の親	7	14.3%	12	12.2%	16	12.1%
本人の配偶者・パートナー	4	8.2%	1	1.0%	6	4.5%
その他	0	0.0%	1	1.0%	1	0.8%
計	49	100.0%	98	100.0%	132	100.0%

(単位：人)

学種 主な返還者	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,106	83.5%	252	90.3%	330	84.0%	16	80.0%
本人の親	173	13.1%	20	7.2%	48	12.2%	4	20.0%
本人の配偶者・パートナー	39	2.9%	7	2.5%	13	3.3%	0	0.0%
その他	6	0.5%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%
計	1,324	100.0%	279	100.0%	393	100.0%	20	100.0%

(5)同居している家族（複数回答）

奨学生本人が同居している家族は、延滞者は無延滞者に比べて、「本人の配偶者・パートナー」、「奨学生本人の親」、「子ども」の比率が高く、「一人暮らし」の比率は低い。

※同居家族は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 2-5

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人の親	1,121	33.9%	675	29.4%
本人の配偶者・パートナー	1,380	41.7%	951	41.5%
子ども	859	26.0%	507	22.1%
その他	161	4.9%	85	3.7%
一人暮らし	663	20.0%	653	28.5%
わからない	38	1.1%	0	0.0%
回答者数	3,307	100.0%	2,293	100.0%
無回答	22		3	

(6)年齢と同居している家族との関係

年齢と同居している家族との関係を見ると、延滞者では、20代から40代で「奨学生本人の親」との同居率が高く、無延滞者では30代以降で「本人の配偶者・パートナー」、「子ども」との同居率が高い。

表 2-6-1 年齢×同居している家族【延滞者】

(単位：人)

同居家族	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人の親	234	46.2%	587	33.5%	235	31.3%	65	21.9%
本人の配偶者・パートナー	113	22.3%	790	45.1%	346	46.0%	131	44.1%
子ども	52	10.3%	486	27.8%	248	33.0%	73	24.6%
その他	34	6.7%	75	4.3%	32	4.3%	20	6.7%
一人暮らし	137	27.0%	318	18.2%	130	17.3%	78	26.3%
わからない	7	1.4%	13	0.7%	11	1.5%	7	2.4%
回答者数	507	100.0%	1751	100.0%	752	100.0%	297	100.0%

表 2-6-2 年齢×同居している家族【無延滞者】

(単位：人)

同居家族	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人の親	490	38.6%	169	18.5%	11	12.1%	5	26.3%
本人の配偶者・パートナー	319	25.1%	556	60.8%	64	70.3%	12	63.2%
子ども	108	8.5%	352	38.5%	39	42.9%	8	42.1%
その他	50	3.9%	31	3.4%	3	3.3%	1	5.3%
一人暮らし	450	35.5%	186	20.4%	17	18.7%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	1,269	100.0%	914	100.0%	91	100.0%	19	100.0%

3 奨学生本人の職業について

(1)本人の職業（択一）

奨学生本人の職業は、延滞者では「正社（職）員・従業員」41.0%、「非正規社（職）員・従業員」32.6%、「無職・失業中／休職中」13.1%である。一方、無延滞者では「正社（職）員・従業員」73.2%、「非正規社（職）員・従業員」15.4%、「無職・失業中／休職中」3.6%で、無延滞者の方が延滞者より安定した就業状況にあるといえる。

男女別でみると、延滞者の女性で「非正規社（職）員・従業員」の比率が特に高い。

表 3-1-1 【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	930	52.8%	419	27.4%	1,349	41.0%
非正規社（職）員・従業員	435	24.7%	638	41.8%	1,073	32.6%
自営業/家業	145	8.2%	54	3.5%	199	6.1%
学生(留学を含む)	10	0.6%	9	0.6%	19	0.6%
専業主婦(夫)	0	0.0%	180	11.8%	180	5.5%
無職・失業中/休職中	218	12.4%	213	13.9%	431	13.1%
その他	24	1.4%	14	0.9%	38	1.2%
計	1,762	100.0%	1,527	100.0%	3,289	100.0%
無回答	25		15		40	

表 3-1-2 【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	919	83.9%	759	63.4%	1,678	73.2%
非正規社（職）員・従業員	110	10.0%	242	20.2%	352	15.4%
自営業/家業	22	2.0%	17	1.4%	39	1.7%
学生(留学を含む)	13	1.2%	11	0.9%	24	1.0%
専業主婦(夫)	1	0.1%	113	9.4%	114	5.0%
無職・失業中/休職中	28	2.6%	54	4.5%	82	3.6%
その他	3	0.3%	1	0.1%	4	0.2%
計	1,096	100.0%	1,197	100.0%	2,293	100.0%
無回答	1		2		3	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1,126	40.6%	1,185	40.6%	1,427	38.8%	1,475	36.2%
非正規社（職）員・従業員	915	33.0%	992	34.0%	1,080	29.3%	1,210	29.7%
自営業/家業	156	5.6%	156	5.3%	180	4.9%	273	6.7%
学生(留学を含む)	7	0.3%	12	0.4%	14	0.4%	30	0.7%
専業主婦(夫)	192	6.9%	186	6.4%	241	6.5%	311	7.6%
無職・失業中/休職中	343	12.4%	333	11.4%	572	15.5%	642	15.8%
その他	33	1.2%	52	1.8%	168	4.6%	132	3.2%
計	2,772	100.0%	2,916	100.0%	3,682	100.0%	4,073	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1,748	73.4%	2,146	69.0%	1,522	70.3%	1,708	67.9%
非正規社（職）員・従業員	347	14.6%	554	17.8%	345	15.9%	402	16.0%
自営業/家業	39	1.6%	77	2.5%	52	2.4%	63	2.5%
学生(留学を含む)	17	0.7%	36	1.2%	29	1.3%	31	1.2%
専業主婦(夫)	141	5.9%	168	5.4%	105	4.8%	153	6.1%
無職・失業中/休職中	70	2.9%	122	3.9%	93	4.3%	134	5.3%
その他	21	0.9%	9	0.3%	20	0.9%	23	0.9%
計	2,383	100.0%	3,112	100.0%	2,166	100.0%	2,514	100.0%

(2)年齢と本人の職業との関係

表 3-2-1 年齢×本人の職業【延滞者】

(単位：人)

職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	204	40.1%	769	44.3%	292	39.0%	84	28.5%
非正規社（職）員・従業員	198	38.9%	540	31.1%	235	31.4%	100	33.9%
自営業/家業	12	2.4%	75	4.3%	74	9.9%	38	12.9%
学生(留学を含む)	8	1.6%	10	0.6%	1	0.1%	0	0.0%
専業主婦(夫)	21	4.1%	121	7.0%	31	4.1%	7	2.4%
無職・失業中/休職中	65	12.8%	204	11.7%	103	13.8%	59	20.0%
その他	1	0.2%	18	1.0%	12	1.6%	7	2.4%
計	509	100.0%	1,737	100.0%	748	100.0%	295	100.0%

表 3-2-2 年齢×本人の職業【無延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	950	74.9%	660	72.2%	62	68.1%	6	31.6%
非正規社（職）員・従業員	204	16.1%	129	14.1%	11	12.1%	8	42.1%
自営業/家業	8	0.6%	16	1.8%	12	13.2%	3	15.8%
学生(留学を含む)	22	1.7%	1	0.1%	1	1.1%	0	0.0%
専業主婦(夫)	44	3.5%	67	7.3%	2	2.2%	1	5.3%
無職・失業中/休職中	40	3.2%	39	4.3%	2	2.2%	1	5.3%
その他	1	0.1%	2	0.2%	1	1.1%	0	0.0%
計	1,269	100.0%	914	100.0%	91	100.0%	19	100.0%

(3)学種と本人の職業との関係

表 3-3-1 学種×本人の職業【延滞者】

学種 職業	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	182	27.7%	6	66.7%	75	28.5%
非正規社（職）員・従業員	252	38.3%	2	22.2%	104	39.5%
自営業/家業	30	4.6%	1	11.1%	9	3.4%
学生(留学を含む)	2	0.3%	0	0.0%	1	0.4%
専業主婦(夫)	61	9.3%	0	0.0%	41	15.6%
無職・失業中/休職中	117	17.8%	0	0.0%	31	11.8%
計	658	100.0%	9	100.0%	263	100.0%

(単位：人)

学種 職業	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	799	48.2%	45	35.2%	241	42.9%	1	9.1%
非正規社（職）員・従業員	482	29.1%	43	33.6%	184	32.7%	6	54.5%
自営業/家業	119	7.2%	18	14.1%	22	3.9%	0	0.0%
学生(留学を含む)	13	0.8%	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%
専業主婦(夫)	50	3.0%	2	1.6%	24	4.3%	2	18.2%
無職・失業中/休職中	177	10.7%	18	14.1%	86	15.3%	2	18.2%
計	1,658	100.0%	128	100.0%	562	100.0%	11	100.0%

表 3-3-2 学種×本人の職業【無延滞者】

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	31	63.3%	86	87.8%	81	61.4%
非正規社（職）員・従業員	13	26.5%	7	7.1%	24	18.2%
自営業/家業	0	0.0%	0	0.0%	3	2.3%
学生(留学を含む)	0	0.0%	2	2.0%	2	1.5%
専業主婦(夫)	3	6.1%	1	1.0%	15	11.4%
無職・失業中/休職中	2	4.1%	2	2.0%	7	5.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	49	100.0%	98	100.0%	132	100.0%

(単位：人)

職業 \ 学種	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	994	75.1%	216	77.4%	256	65.3%	14	70.0%
非正規社（職）員・従業員	179	13.5%	41	14.7%	84	21.4%	4	20.0%
自営業/家業	20	1.5%	11	3.9%	5	1.3%	0	0.0%
学生(留学を含む)	12	0.9%	0	0.0%	7	1.8%	1	5.0%
専業主婦(夫)	64	4.8%	8	2.9%	22	5.6%	1	5.0%
無職・失業中/休職中	51	3.9%	2	0.7%	18	4.6%	0	0.0%
その他	3	0.2%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,323	100.0%	279	100.0%	392	100.0%	20	100.0%

4 奨学生本人の年収について

(1)本人の年収（択一）

奨学生本人の年収について、「年収 300 万円未満」の比率は、延滞者では合計 70.1%であるのに対し、無延滞者では合計 47.4%と大きな差がみられる。男女別でみると、延滞者、無延滞者ともに、男性より女性の方が収入の低い区分の比率が高く、特に延滞者の女性で 200 万円未満の比率が高い。

表 4-1-1【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	126	7.2%	249	16.4%	375	11.4%	70.1%
1円～100万円未満	171	9.7%	348	22.9%	519	15.8%	
100万～200万円未満	299	17.0%	405	26.6%	704	21.4%	
200万～300万円未満	422	24.0%	285	18.7%	707	21.5%	
300万～400万円未満	342	19.4%	118	7.8%	460	14.0%	26.5%
400万～500万円未満	145	8.2%	57	3.7%	202	6.2%	
500万～600万円未満	91	5.2%	13	0.9%	104	3.2%	
600万～700万円未満	35	2.0%	7	0.5%	42	1.3%	
700万～800万円未満	22	1.2%	3	0.2%	25	0.8%	
800万～900万円未満	13	0.7%	1	0.1%	14	0.4%	
900万円以上	18	1.0%	3	0.2%	21	0.6%	3.4%
わからない	78	4.4%	32	2.1%	110	3.4%	
計	1,762	100.0%	1,521	100.0%	3,283	100.0%	100.0%
無回答	25		21		46		

表 4-1-2【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	16	1.5%	103	8.6%	119	5.2%	47.4%
1円～100万円未満	41	3.8%	118	9.9%	159	7.0%	
100万～200万円未満	73	6.7%	201	16.8%	274	12.0%	
200万～300万円未満	199	18.3%	331	27.7%	530	23.2%	
300万～400万円未満	252	23.1%	246	20.6%	498	21.8%	51.3%
400万～500万円未満	189	17.4%	109	9.1%	298	13.1%	
500万～600万円未満	130	11.9%	40	3.4%	170	7.4%	
600万～700万円未満	62	5.7%	14	1.2%	76	3.3%	
700万～800万円未満	44	4.0%	8	0.7%	52	2.3%	
800万～900万円未満	25	2.3%	5	0.4%	30	1.3%	
900万円以上	44	4.0%	4	0.3%	48	2.1%	1.3%
わからない	14	1.3%	15	1.3%	29	1.3%	
計	1,089	100.0%	1,194	100.0%	2,283	100.0%	100.0%
無回答	8		5		13		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	356	12.8%	334	11.7%	500	14.1%	592	15.1%
1円～100万円未満	443	15.9%	485	17.0%	687	19.4%	754	19.3%
100万～200万円未満	619	22.2%	726	25.4%	859	24.2%	937	24.0%
200万～300万円未満	620	22.2%	657	23.0%	727	20.5%	852	21.8%
300万～400万円未満	355	12.7%	390	13.6%	437	12.3%	430	11.0%
400万～500万円未満	183	6.6%	163	5.7%	175	4.9%	198	5.1%
500万～600万円未満	91	3.3%	65	2.3%	80	2.3%	82	2.1%
600万～700万円未満	31	1.1%	22	0.8%	35	1.0%	34	0.9%
700万～800万円未満	12	0.4%	8	0.3%	22	0.6%	15	0.4%
800万～900万円未満	4	0.1%	5	0.2%	9	0.3%	5	0.1%
900万円以上	8	0.3%	4	0.1%	12	0.3%	13	0.3%
わからない	67	2.4%	-	-	-	-	-	-
計	2,789	100.0%	2,859	100.0%	3,543	100.0%	3,912	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	132	5.5%	181	5.9%	135	6.3%	167	6.7%
1円～100万円未満	143	6.0%	241	7.8%	153	7.2%	232	9.3%
100万～200万円未満	340	14.2%	483	15.7%	334	15.6%	382	15.4%
200万～300万円未満	547	22.9%	812	26.4%	552	25.8%	636	25.6%
300万～400万円未満	507	21.2%	571	18.6%	450	21.1%	486	19.6%
400万～500万円未満	315	13.2%	354	11.5%	226	10.6%	287	11.6%
500万～600万円未満	163	6.8%	198	6.4%	135	6.3%	127	5.1%
600万～700万円未満	81	3.4%	95	3.1%	73	3.4%	67	2.7%
700万～800万円未満	56	2.3%	59	1.9%	35	1.6%	40	1.6%
800万～900万円未満	29	1.2%	26	0.8%	15	0.7%	13	0.5%
900万円以上	44	1.8%	53	1.7%	29	1.3%	46	1.9%
わからない	31	1.3%	-	-	-	-	-	-
計	2,388	100.0%	3,073	100.0%	2,137	100.0%	2,483	100.0%

(2)本人の職業と年収との関係

奨学生本人の職業と年収との関係を見ると、延滞者、無延滞者ともに「正社（職）員・従業員」は「200万～400万円未満」、「非正規社（職）員・従業員」は「100万～200万円未満」の比率が高い。

表 4-2-1 本人の職業×年収【延滞者】

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職） 員・従業員		自営業/家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	2	0.1%	8	0.7%	9	4.6%
1円～100万円未満	18	1.3%	298	27.9%	47	23.9%
100万～200万円未満	156	11.7%	438	41.0%	42	21.3%
200万～300万円未満	389	29.1%	221	20.7%	61	31.0%
300万～400万円未満	378	28.2%	52	4.9%	15	7.6%
400万～500万円未満	170	12.7%	18	1.7%	11	5.6%
500万～600万円未満	96	7.2%	3	0.3%	5	2.5%
600万～700万円未満	36	2.7%	3	0.3%	2	1.0%
700万～800万円未満	24	1.8%	0	0.0%	1	0.5%
800万～900万円未満	13	1.0%	1	0.1%	0	0.0%
900万円以上	18	1.3%	0	0.0%	1	0.5%
わからない	39	2.9%	25	2.3%	3	1.5%
計	1,339	100.0%	1,067	100.0%	197	100.0%

(単位：人)

職業 年収	学生(留学を含む)		専業主婦(夫)		無職・失業中 /休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	4	21.1%	143	80.3%	202	48.1%	4	11.4%
1円～100万円未満	10	52.6%	24	13.5%	115	27.4%	3	8.6%
100万～200万円未満	2	10.5%	7	3.9%	51	12.1%	2	5.7%
200万～300万円未満	1	5.3%	1	0.6%	24	5.7%	5	14.3%
300万～400万円未満	1	5.3%	1	0.6%	6	1.4%	1	2.9%
400万～500万円未満	0	0.0%	0	0.0%	3	0.7%	0	0.0%
500万～600万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.7%
わからない	1	5.3%	2	1.1%	18	4.3%	18	51.4%
計	19	100.0%	178	100.0%	420	100.0%	35	100.0%

表 4-2-2 本人の職業×年収【無延滞者】

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職） 員・従業員		自営業/家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	1	0.1%	2	0.6%	0	0.0%
1円～100万円未満	13	0.8%	85	24.2%	2	5.1%
100万～200万円未満	104	6.2%	136	38.7%	11	28.2%
200万～300万円未満	434	26.0%	82	23.4%	4	10.3%
300万～400万円未満	456	27.3%	32	9.1%	3	7.7%
400万～500万円未満	283	17.0%	5	1.4%	7	17.9%
500万～600万円未満	164	9.8%	2	0.6%	3	7.7%
600万～700万円未満	72	4.3%	1	0.3%	2	5.1%
700万～800万円未満	49	2.9%	1	0.3%	2	5.1%
800万～900万円未満	30	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
900万円以上	42	2.5%	0	0.0%	4	10.3%
わからない	20	1.2%	5	1.4%	1	2.6%
計	1,668	100.0%	351	100.0%	39	100.0%

(単位：人)

職業 年収	学生(留学を含む)		専業主婦(夫)		無職・失業中 /休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	9	37.5%	82	71.9%	25	30.5%	0	0.0%
1円～100万円未満	10	41.7%	24	21.1%	24	29.3%	0	0.0%
100万～200万円未満	5	20.8%	3	2.6%	14	17.1%	1	25.0%
200万～300万円未満	0	0.0%	3	2.6%	7	8.5%	0	0.0%
300万～400万円未満	0	0.0%	1	0.9%	6	7.3%	0	0.0%
400万～500万円未満	0	0.0%	0	0.0%	3	3.7%	0	0.0%
500万～600万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
600万～700万円未満	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%
700万～800万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%
わからない	0	0.0%	1	0.9%	2	2.4%	0	0.0%
計	24	100.0%	114	100.0%	82	100.0%	4	100.0%

(3)年齢と本人の年収との関係

年齢と奨学生本人の年収との関係をみると、延滞者では20代と30代以降で収入にあまり変化がみられないのに対し、無延滞者では20代より30代の収入が高い。

表 4-3-1 年齢×本人の年収【延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	47	9.3%	206	11.8%	92	12.4%	30	10.3%
1円～100万円未満	90	17.8%	268	15.4%	117	15.7%	44	15.1%
100万～200万円未満	151	29.8%	354	20.3%	147	19.8%	52	17.8%
200万～300万円未満	119	23.5%	378	21.7%	139	18.7%	71	24.3%
300万～400万円未満	64	12.6%	259	14.9%	103	13.8%	34	11.6%
400万～500万円未満	14	2.8%	124	7.1%	46	6.2%	18	6.2%
500万～600万円未満	7	1.4%	52	3.0%	34	4.6%	11	3.8%
600万～700万円未満	2	0.4%	19	1.1%	15	2.0%	6	2.1%
700万～800万円未満	0	0.0%	10	0.6%	11	1.5%	4	1.4%
800万～900万円未満	0	0.0%	5	0.3%	5	0.7%	4	1.4%
900万円以上	0	0.0%	9	0.5%	6	0.8%	6	2.1%
わからない	13	2.6%	56	3.2%	29	3.9%	12	4.1%
計	507	100.0%	1,740	100.0%	744	100.0%	292	100.0%

表 4-3-2 年齢×本人の年収【無延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	48	3.8%	67	7.4%	2	2.2%	2	10.5%
1円～100万円未満	91	7.2%	64	7.0%	3	3.3%	1	5.3%
100万～200万円未満	188	14.9%	71	7.8%	11	12.1%	4	21.1%
200万～300万円未満	388	30.7%	132	14.5%	6	6.6%	4	21.1%
300万～400万円未満	311	24.6%	172	18.9%	14	15.4%	1	5.3%
400万～500万円未満	142	11.3%	141	15.5%	13	14.3%	2	10.5%
500万～600万円未満	51	4.0%	107	11.7%	10	11.0%	2	10.5%
600万～700万円未満	17	1.3%	51	5.6%	8	8.8%	0	0.0%
700万～800万円未満	4	0.3%	41	4.5%	7	7.7%	0	0.0%
800万～900万円未満	3	0.2%	20	2.2%	6	6.6%	1	5.3%
900万円以上	4	0.3%	31	3.4%	11	12.1%	2	10.5%
わからない	15	1.2%	14	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,262	100.0%	911	100.0%	91	100.0%	19	100.0%

(4)学種と本人の年収との関係

表 4-4-1 学種×本人の年収【延滞者】

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	114	17.3%	0	0.0%	53	20.2%
1円～100万円未満	158	24.0%	0	0.0%	53	20.2%
100万～200万円未満	167	25.4%	0	0.0%	58	22.1%
200万～300万円未満	108	16.4%	2	22.2%	71	27.0%
300万～400万円未満	50	7.6%	3	33.3%	11	4.2%
400万～500万円未満	20	3.0%	2	22.2%	8	3.0%
500万～600万円未満	6	0.9%	1	11.1%	2	0.8%
600万～700万円未満	3	0.5%	1	11.1%	1	0.4%
700万～800万円未満	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
800万～900万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円以上	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	29	4.4%	0	0.0%	6	2.3%
計	658	100.0%	9	100.0%	263	100.0%

(単位：人)

学種 年収	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	140	8.5%	9	7.0%	55	9.8%	4	36.4%
1円～100万円未満	181	11.0%	15	11.7%	109	19.4%	3	27.3%
100万～200万円未満	319	19.3%	13	10.2%	144	25.6%	3	27.3%
200万～300万円未満	387	23.4%	21	16.4%	117	20.8%	1	9.1%
300万～400万円未満	286	17.3%	25	19.5%	85	15.1%	0	0.0%
400万～500万円未満	137	8.3%	14	10.9%	21	3.7%	0	0.0%
500万～600万円未満	74	4.5%	10	7.8%	11	2.0%	0	0.0%
600万～700万円未満	31	1.9%	4	3.1%	2	0.4%	0	0.0%
700万～800万円未満	19	1.2%	3	2.3%	1	0.2%	0	0.0%
800万～900万円未満	8	0.5%	5	3.9%	1	0.2%	0	0.0%
900万円以上	14	0.8%	5	3.9%	1	0.2%	0	0.0%
わからない	55	3.3%	4	3.1%	16	2.8%	0	0.0%
計	1,651	100.0%	128	100.0%	563	100.0%	11	100.0%

表 4-4-2 学種×本人の年収【無延滞者】

年収	学種		高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	4	8.2%	2	2.0%	10	7.6%		
1円～100万円未満	9	18.4%	1	1.0%	13	9.8%		
100万～200万円未満	4	8.2%	6	6.1%	35	26.5%		
200万～300万円未満	6	12.2%	14	14.3%	45	34.1%		
300万～400万円未満	10	20.4%	28	28.6%	22	16.7%		
400万～500万円未満	7	14.3%	19	19.4%	3	2.3%		
500万～600万円未満	3	6.1%	17	17.3%	1	0.8%		
600万～700万円未満	3	6.1%	7	7.1%	1	0.8%		
700万～800万円未満	1	2.0%	1	1.0%	0	0.0%		
800万～900万円未満	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%		
900万円以上	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%		
わからない	1	2.0%	2	2.0%	2	1.5%		
計	49	100.0%	98	100.0%	132	100.0%		

(単位：人)

年収	学種		大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	68	5.2%	7	2.5%	28	7.2%	0	0.0%		
1円～100万円未満	92	7.0%	9	3.2%	34	8.8%	1	5.0%		
100万～200万円未満	126	9.6%	12	4.3%	86	22.2%	5	25.0%		
200万～300万円未満	298	22.6%	37	13.3%	126	32.5%	4	20.0%		
300万～400万円未満	324	24.6%	41	14.7%	67	17.3%	6	30.0%		
400万～500万円未満	196	14.9%	42	15.1%	29	7.5%	2	10.0%		
500万～600万円未満	99	7.5%	38	13.7%	11	2.8%	1	5.0%		
600万～700万円未満	37	2.8%	26	9.4%	2	0.5%	0	0.0%		
700万～800万円未満	27	2.0%	23	8.3%	0	0.0%	0	0.0%		
800万～900万円未満	10	0.8%	18	6.5%	1	0.3%	0	0.0%		
900万円以上	25	1.9%	22	7.9%	0	0.0%	0	0.0%		
わからない	16	1.2%	3	1.1%	4	1.0%	1	5.0%		
計	1,318	100.0%	278	100.0%	388	100.0%	20	100.0%		

5 延滞の理由について※延滞者にのみ質問。

(1)延滞が始まった理由(きっかけ)(複数回答)

延滞が始まった理由(きっかけ)は、「家計の収入が減った」が67.8%で最も高く、次いで「家計の支出が増えた」40.2%、「入院、事故、災害等にあったため」19.9%、「忙しかった」13.9%である。

※延滞が始まった理由(きっかけ)は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 5-1-1 延滞が始まった理由(複数回答)×男女別 (単位:人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	220	12.4%	239	15.6%	459	13.9%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	173	9.8%	155	10.1%	328	9.9%
家計の収入が減った	1,143	64.6%	1,097	71.6%	2,240	67.8%
家計の支出が増えた	706	39.9%	622	40.6%	1,328	40.2%
入院、事故、災害等にあったため	342	19.3%	314	20.5%	656	19.9%
奨学金は返還するものだとは思っていないかった	66	3.7%	61	4.0%	127	3.8%
その他	465	26.3%	443	28.9%	908	27.5%
回答者数	1,770	100.0%	1,533	100.0%	3,303	100.0%
無回答	17		9		26	

<参考> 過年度調査の結果【延滞者】

(単位:人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	404	14.3%	632	23.1%	511	13.9%	332	8.2%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	297	10.5%	488	17.9%	404	11.0%	295	7.3%
家計の収入が減った	1,948	69.2%	2,081	76.1%	2,562	69.4%	2,948	72.9%
家計の支出が増えた	1,210	43.0%	1,391	50.9%	1,547	41.9%	1,397	34.5%
入院、事故、災害等にあったため	540	19.2%	617	22.6%	850	23.0%	732	18.1%
奨学金は返還するものだとは思っていないかった	124	4.4%	123	4.5%	91	2.5%	110	2.7%
その他	839	29.8%	617	22.6%	936	25.4%	1,146	28.3%
回答者数	2,817	100.0%	2,733	100.0%	3,689	100.0%	4,046	100.0%

※平成25年度は2つまで、平成26年度以降はあてはまるもの全て選択。

表 5-1-2 延滞が始まった最たる理由（択一）×男女別 (単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど)	50	3.0%	45	3.1%	95	3.1%
返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス	56	3.3%	36	2.5%	92	3.0%
家計の収入が減った	725	43.3%	667	46.5%	1,392	44.8%
家計の支出が増えた	312	18.6%	238	16.6%	550	17.7%
入院、事故、災害等にあつたため	129	7.7%	98	6.8%	227	7.3%
奨学金は返還するものだとは思っていない	33	2.0%	33	2.3%	66	2.1%
その他	368	22.0%	318	22.2%	686	22.1%
回答者数	1,673	100.0%	1,435	100.0%	3,108	100.0%
無回答	114		107		221	

(2)延滞が継続している理由（複数回答）

延滞が継続している理由は、「本人の低所得」が64.4%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」45.0%である。男女別でみると、男性は女性に比べて「本人の借入金の返済」が10ポイント以上高く、女性は男性に比べて「本人の配偶者の経済困難」、「本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）」が5ポイント以上高い。

※延滞が継続している理由は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 5-2-1 延滞が継続している理由（複数回答）×男女別 (単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	1,109	62.9%	1,011	66.1%	2,120	64.4%
本人が失業中(無職)	404	22.9%	401	26.2%	805	24.4%
本人が学生(留学を含む)	28	1.6%	31	2.0%	59	1.8%
本人が病気療養中	188	10.7%	224	14.7%	412	12.5%
本人の借入金の返済	621	35.2%	343	22.4%	964	29.3%
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	429	24.3%	367	24.0%	796	24.2%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	372	21.1%	412	26.9%	784	23.8%
本人の配偶者の経済困難	82	4.6%	195	12.8%	277	8.4%
家族の病気療養	279	15.8%	252	16.5%	531	16.1%
忙しい（金融機関に行けない等）	127	7.2%	140	9.2%	267	8.1%
奨学金の延滞額の増加	777	44.0%	706	46.2%	1,483	45.0%
奨学金は返還するものだとは思っていない	31	1.8%	15	1.0%	46	1.4%
その他	142	8.0%	124	8.1%	266	8.1%
回答者数	1,764	100.0%	1,529	100.0%	3,293	100.0%
無回答	23		13		36	

<参考> 過年度調査の結果【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	1,817	64.5%	1,838	67.2%	1,883	51.6%	2,049	51.1%
本人が失業中(無職)	771	27.4%	483	17.7%	606	16.6%	605	15.1%
本人が学生(留学を含む)	56	2.0%	37	1.4%	28	0.8%	30	0.7%
本人が病気療養中	324	11.5%	194	7.1%	274	7.5%	212	5.3%
本人の借入金の返済	870	30.9%	952	34.8%	948	26.0%	796	19.8%
本人親の経済困難(本人が親へ経済援助をしており支出が多い)	728	25.8%	815	29.8%	944	25.9%	758	18.9%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	690	24.5%	568	20.8%	738	20.2%	710	17.7%
本人の配偶者の経済困難	256	9.1%	250	9.1%	330	9.0%	218	5.4%
家族の病気療養	464	16.5%	355	13.0%	445	12.2%	230	5.7%
忙しい(金融機関に行けない等)	233	8.3%	264	9.7%	258	7.1%	139	3.5%
奨学金の延滞額の増加	1,338	47.5%	1,472	53.8%	1,707	46.8%	1,201	29.9%
奨学金は返還するものだとは思っていない	53	1.9%	42	1.5%	21	0.6%	19	0.5%
その他	245	8.7%	200	7.3%	311	8.5%	262	6.5%
回答者数	2,818	100.0%	2,734	100.0%	3,649	100.0%	4,013	100.0%

※平成25年度は2つまで選択、平成26年度以降はあてはまるもの全て選択。

表 5-2-2 延滞が継続している理由(択一) ×男女別

(単位：人)

区分	最たる理由(択一)					
	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	553	33.7%	444	31.0%	997	32.5%
本人が失業中(無職)	135	8.2%	107	7.5%	242	7.9%
本人が学生(留学を含む)	7	0.4%	11	0.8%	18	0.6%
本人が病気療養中	54	3.3%	69	4.8%	123	4.0%
本人の借入金の返済	203	12.4%	95	6.6%	298	9.7%
本人親の経済困難(本人が親へ経済援助をしており支出が多い)	151	9.2%	119	8.3%	270	8.8%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)	143	8.7%	168	11.7%	311	10.1%
本人の配偶者の経済困難	6	0.4%	54	3.8%	60	2.0%
家族の病気療養	48	2.9%	42	2.9%	90	2.9%
忙しい(金融機関に行けない等)	23	1.4%	35	2.4%	58	1.9%
奨学金の延滞額の増加	225	13.7%	222	15.5%	447	14.6%
奨学金は返還するものだとは思っていない	4	0.2%	8	0.6%	12	0.4%
その他	87	5.3%	56	3.9%	143	4.7%
回答者数	1,639	100.0%	1,430	100.0%	3,069	100.0%
無回答	148		112		260	

延滞継続の理由を「本人の低所得」とする者の年収をみると、「年収 300 万円未満」が 79.3%を占める（延滞者全体：70.1%）。

表 5-2-3 「本人の低所得」×本人の年収 (単位：人)

区分	「本人の低所得」と回答した者の年収			延滞者全体の年収(再掲)		
	人数	比率	比率	人数	比率	比率
0円	158	7.5%	79.3%	375	11.4%	70.1%
1円～100万円未満	399	18.9%		519	15.8%	
100万～200万円未満	585	27.8%		704	21.4%	
200万～300万円未満	529	25.1%		707	21.5%	
300万～400万円未満	249	11.8%	19.1%	460	14.0%	26.5%
400万～500万円未満	88	4.2%		202	6.2%	
500万～600万円未満	36	1.7%		104	3.2%	
600万～700万円未満	13	0.6%		42	1.3%	
700万～800万円未満	7	0.3%		25	0.8%	
800万～900万円未満	7	0.3%		14	0.4%	
900万円以上	4	0.2%		21	0.6%	
わからない	33	1.6%	1.6%	110	3.4%	3.4%
計	2,108	100.0%	100.0%	3,283	100.0%	100.0%
無回答	12			46		

(3)延滞が始まった理由（きっかけ）と継続している理由との関係

延滞が始まった理由（きっかけ）と継続している理由との関係をみると、延滞が始まった理由がいずれの場合も、その後延滞が継続している理由は「本人の低所得」、「本人の借入金の返済」の比率が高い。

※延滞が始まった理由（きっかけ）および継続している理由は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 5-3 延滞が始まった理由（複数回答）×延滞が継続している理由（複数回答）（単位：人）

継続している理由	始まった理由		忙しかった		返還を忘れていた		収入が減った		支出が増えた	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	300	65.4%	201	61.3%	1,627	72.6%	897	67.5%		
本人が失業中(無職)	88	19.2%	64	19.5%	600	26.8%	261	19.7%		
本人が学生(留学を含む)	13	2.8%	9	2.7%	41	1.8%	23	1.7%		
本人が病気療養中	38	8.3%	32	9.8%	285	12.7%	131	9.9%		
本人の借入金の返済	151	32.9%	108	32.9%	666	29.7%	560	42.2%		
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助を しており支出が多い）	122	26.6%	70	21.3%	599	26.7%	449	33.8%		
本人親の経済困難（本人の親が返還する約 束をしている）	76	16.6%	51	15.5%	578	25.8%	292	22.0%		
本人の配偶者の経済困難	30	6.5%	24	7.3%	213	9.5%	156	11.7%		
家族の病気療養	63	13.7%	41	12.5%	419	18.7%	230	17.3%		
忙しい（金融機関に行けない等）	204	44.4%	90	27.4%	135	6.0%	127	9.6%		
奨学金の延滞額の増加	241	52.5%	170	51.8%	1,077	48.1%	695	52.3%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	5	1.1%	6	1.8%	19	0.8%	14	1.1%		
その他	32	7.0%	22	6.7%	133	5.9%	88	6.6%		
回答者数	459	100.0%	328	100.0%	2,240	100.0%	1,328	100.0%		

継続している理由	始まった理由		入院、事故、 災害等		返還するもの だとは思っていない		その他		回答者全体	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	408	62.2%	82	64.6%	524	57.7%	2,120	64.9%		
本人が失業中(無職)	213	32.5%	37	29.1%	248	27.3%	805	24.6%		
本人が学生(留学を含む)	10	1.5%	2	1.6%	13	1.4%	59	1.8%		
本人が病気療養中	243	37.0%	14	11.0%	115	12.7%	412	12.6%		
本人の借入金の返済	193	29.4%	39	30.7%	255	28.1%	964	29.5%		
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助をして おり支出が多い）	175	26.7%	36	28.3%	208	22.9%	796	24.4%		
本人親の経済困難（本人の親が返還する約 束をしている）	188	28.7%	40	31.5%	252	27.8%	784	24.0%		
本人の配偶者の経済困難	74	11.3%	13	10.2%	80	8.8%	277	8.5%		
家族の病気療養	240	36.6%	26	20.5%	163	18.0%	531	16.3%		
忙しい（金融機関に行けない等）	41	6.3%	8	6.3%	49	5.4%	267	8.2%		
奨学金の延滞額の増加	291	44.4%	72	56.7%	408	44.9%	1,483	45.4%		
奨学金は返還するものだとは思っていない	6	0.9%	39	30.7%	14	1.5%	46	1.4%		
その他	36	5.5%	18	14.2%	174	19.2%	266	8.1%		
回答者数	656	100.0%	127	100.0%	908	100.0%	3,267	100.0%		

(4)主な返還者と延滞が継続している理由との関係

主な返還者と延滞が継続している理由との関係を見ると、主な返還者が「奨学生本人」では「本人の低所得」が69.9%で最も高く、次いで「奨学金の延滞額の増加」が46.6%である。また、主な返還者が「本人の親」では「本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）」が56.3%で最も高く、次いで「本人の低所得」が46.8%である。

※延滞が継続している理由は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 5-4 主な返還者×延滞が継続している理由（複数回答） （単位：人）

継続している理由	奨学生本人		本人の親		本人の配偶者・パートナー	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	1,554	69.9%	318	46.8%	39	56.5%
本人が失業中(無職)	507	22.8%	156	22.9%	24	34.8%
本人が学生(留学を含む)	53	2.4%	3	0.4%	0	0.0%
本人が病気療養中	248	11.2%	74	10.9%	13	18.8%
本人の借入金の返済	774	34.8%	85	12.5%	21	30.4%
本人親の経済困難（本人が親への経済援助をしており支出が多い）	568	25.5%	135	19.9%	15	21.7%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	301	13.5%	383	56.3%	14	20.3%
本人の配偶者の経済困難	190	8.5%	35	5.1%	17	24.6%
家族の病気療養	344	15.5%	113	16.6%	8	11.6%
忙しい（金融機関に行けない等）	232	10.4%	17	2.5%	7	10.1%
奨学金の延滞額の増加	1,037	46.6%	256	37.6%	35	50.7%
奨学金は返還するものだとは思っていない	28	1.3%	6	0.9%	1	1.4%
その他	181	8.1%	49	7.2%	9	13.0%
回答者数	2,224	100.0%	680	100.0%	69	100.0%

(5)本人の年収と延滞が継続している理由との関係

本人の年収と延滞が継続している理由との関係を見ると、年収「0円」では「本人が失業中（無職）」が最も高く、年収「1～400万円未満」では「本人の低所得」が最も高い。また、年収0から700万円未満のいずれの区分でも、「奨学金の延滞額の増加」が4割を超える高い比率である。

※延滞が継続している理由は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 5-5 本人の年収×延滞が継続している理由（複数回答）

（単位：人）

継続している理由	0円		1円～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	158	42.4%	399	77.5%	585	83.3%	529	75.4%
本人が失業中(無職)	238	63.8%	170	33.0%	157	22.4%	121	17.2%
本人が学生(留学を含む)	6	1.6%	9	1.7%	11	1.6%	12	1.7%
本人が病気療養中	109	29.2%	93	18.1%	87	12.4%	53	7.5%
本人の借入金の返済	43	11.5%	100	19.4%	183	26.1%	239	34.0%
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助を しており支出が多い）	63	16.9%	87	16.9%	171	24.4%	192	27.4%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約 束をしている）	122	32.7%	143	27.8%	158	22.5%	139	19.8%
本人の配偶者の経済困難	47	12.6%	64	12.4%	67	9.5%	48	6.8%
家族の病気療養	71	19.0%	81	15.7%	119	17.0%	102	14.5%
忙しい（金融機関に行けない等）	9	2.4%	18	3.5%	47	6.7%	65	9.3%
奨学金の延滞額の増加	150	40.2%	219	42.5%	313	44.6%	332	47.3%
奨学金は返還するものだとは思っていない	6	1.6%	4	0.8%	9	1.3%	13	1.9%
その他	36	9.7%	34	6.6%	36	5.1%	42	6.0%
回答者数	373	100.0%	515	100.0%	702	100.0%	702	100.0%

継続している理由	300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満		500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	249	54.8%	88	43.8%	36	35.3%	13	31.0%
本人が失業中(無職)	49	10.8%	23	11.4%	9	8.8%	4	9.5%
本人が学生(留学を含む)	8	1.8%	3	1.5%	1	1.0%	0	0.0%
本人が病気療養中	26	5.7%	15	7.5%	4	3.9%	4	9.5%
本人の借入金の返済	182	40.1%	97	48.3%	47	46.1%	20	47.6%
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助を しており支出が多い）	141	31.1%	63	31.3%	30	29.4%	12	28.6%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約 束をしている）	97	21.4%	26	12.9%	19	18.6%	6	14.3%
本人の配偶者の経済困難	24	5.3%	8	4.0%	8	7.8%	2	4.8%
家族の病気療養	63	13.9%	37	18.4%	11	10.8%	10	23.8%
忙しい（金融機関に行けない等）	55	12.1%	35	17.4%	13	12.7%	9	21.4%
奨学金の延滞額の増加	231	50.9%	100	49.8%	42	41.2%	23	54.8%
奨学金は返還するものだとは思っていない	9	2.0%	2	1.0%	2	2.0%	1	2.4%
その他	43	9.5%	27	13.4%	14	13.7%	6	14.3%
回答者数	454	100.0%	201	100.0%	102	100.0%	42	100.0%

継続している理由	700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万円以上		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	7	28.0%	7	50.0%	4	19.0%	33	32.0%
本人が失業中(無職)	4	16.0%	1	7.1%	2	9.5%	20	19.4%
本人が学生(留学を含む)	1	4.0%	3	21.4%	3	14.3%	2	1.9%
本人が病気療養中	0	0.0%	1	7.1%	2	9.5%	9	8.7%
本人の借入金の返済	16	64.0%	6	42.9%	6	28.6%	15	14.6%
本人親の経済困難(本人が親へ経済援助を しており支出が多い)	6	24.0%	4	28.6%	4	19.0%	17	16.5%
本人親の経済困難(本人の親が返還する約 束をしている)	6	24.0%	3	21.4%	4	19.0%	50	48.5%
本人の配偶者の経済困難	0	0.0%	2	14.3%	2	9.5%	1	1.0%
家族の病気療養	2	8.0%	1	7.1%	5	23.8%	19	18.4%
忙しい(金融機関に行けない等)	2	8.0%	1	7.1%	3	14.3%	8	7.8%
奨学金の延滞額の増加	13	52.0%	5	35.7%	7	33.3%	37	35.9%
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	3	12.0%	1	7.1%	3	14.3%	15	14.6%
回答者数	25	100.0%	14	100.0%	21	100.0%	103	100.0%

(6)本人の職業と延滞が継続している理由との関係

本人の職業と延滞が継続している理由との関係を見ると、延滞が継続している理由は、いずれの職業区分でも「本人の低所得」の比率が高く、特に「非正規社（職）員・従業員」で高い。

※延滞が継続している理由は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 5-6 本人の職業×延滞が継続している理由（複数回答）

継続している理由	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職） 員・従業員		自営業/家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	738	55.4%	876	81.9%	156	78.4%
本人が失業中(無職)	152	11.4%	229	21.4%	20	10.1%
本人が学生(留学を含む)	26	2.0%	12	1.1%	2	1.0%
本人が病気療養中	81	6.1%	123	11.5%	20	10.1%
本人の借入金の返済	487	36.6%	289	27.0%	89	44.7%
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助をしております支出が多い）	389	29.2%	256	23.9%	40	20.1%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	282	21.2%	261	24.4%	39	19.6%
本人の配偶者の経済困難	80	6.0%	103	9.6%	23	11.6%
家族の病気療養	214	16.1%	169	15.8%	29	14.6%
忙しい（金融機関に行けない等）	164	12.3%	70	6.5%	11	5.5%
奨学金の延滞額の増加	615	46.2%	497	46.5%	98	49.2%
奨学金は返還するものだとは思っていない	21	1.6%	10	0.9%	6	3.0%
その他	121	9.1%	67	6.3%	12	6.0%
回答者数	1,332	100.0%	1,069	100.0%	199	100.0%

(単位：人)

継続している理由	学生(留学を含む)		専業主婦(夫)		無職・失業中 /休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	11	64.7%	95	53.1%	217	50.8%	10	30.3%
本人が失業中(無職)	5	29.4%	84	46.9%	305	71.4%	5	15.2%
本人が学生(留学を含む)	12	70.6%	1	0.6%	5	1.2%	1	3.0%
本人が病気療養中	0	0.0%	27	15.1%	152	35.6%	4	12.1%
本人の借入金の返済	1	5.9%	19	10.6%	66	15.5%	6	18.2%
本人親の経済困難（本人が親へ経済援助をしております支出が多い）	3	17.6%	34	19.0%	64	15.0%	4	12.1%
本人親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	1	5.9%	61	34.1%	112	26.2%	12	36.4%
本人の配偶者の経済困難	1	5.9%	33	18.4%	32	7.5%	2	6.1%
家族の病気療養	3	17.6%	26	14.5%	81	19.0%	4	12.1%
忙しい（金融機関に行けない等）	0	0.0%	8	4.5%	13	3.0%	1	3.0%
奨学金の延滞額の増加	5	29.4%	81	45.3%	164	38.4%	9	27.3%
奨学金は返還するものだとは思っていない	0	0.0%	1	0.6%	7	1.6%	1	3.0%
その他	1	5.9%	17	9.5%	36	8.4%	9	27.3%
回答者数	17	100.0%	179	100.0%	427	100.0%	33	100.0%

6 返還期限の猶予制度について

返還期限の猶予制度に関しては、案内資料を請求書に同封するほか、振替不能通知などの延滞督促に記載している。また、学校における奨学金に関する各種説明会での説明事項に含めている。

(1) 猶予制度の認知状況（択一）

猶予制度の認知率は、延滞者で 73.7%、無延滞者で 62.6%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で 34.6%であるのに対し、延滞者では 4.5%と大きな差がみられる。また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が 51.8%で最も高い。

表 6-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	61	1.9%	293	12.8%
返還が始まる前までには知っていた	87	2.6%	499	21.8%
返還が始まってから知った	571	17.4%	587	25.7%
延滞督促を受けてから知った	1,702	51.8%	53	2.3%
知らない	863	26.3%	855	37.4%
計	3,284	100.0%	2,287	100.0%
無回答	45		9	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	47	1.7%	50	1.7%	77	2.1%
返還が始まる前までには知っていた	80	2.9%	79	2.7%	101	2.7%
返還が始まってから知った	453	16.2%	476	16.3%	568	15.4%
延滞督促を受けてから知った	1,434	51.2%	1,364	46.7%	1,625	44.1%
知らない	785	28.0%	951	32.6%	1,314	35.7%
計	2,799	100.0%	2,920	100.0%	3,685	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	251	10.5%	373	12.0%	279	13.0%
返還が始まる前までには知っていた	538	22.5%	648	20.8%	453	21.1%
返還が始まってから知った	651	27.2%	762	24.5%	484	22.5%
延滞督促を受けてから知った	62	2.6%	67	2.2%	51	2.4%
知らない	890	37.2%	1,259	40.5%	880	41.0%
計	2,392	100.0%	3,109	100.0%	2,147	100.0%

(2)年齢と猶予制度の認知状況との関係

年齢と猶予制度の認知状況との関係を見ると、他の年齢に比べて20代は、返還が始まる前までに知っていた比率が高い。

表 6-2-1 年齢×猶予制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	18	3.6%	29	1.7%	9	1.2%	5	1.7%
返還が始まる前までには知っていた	23	4.5%	39	2.2%	18	2.4%	7	2.4%
返還が始まってから知った	94	18.5%	309	17.7%	123	16.6%	45	15.3%
延滞督促を受けてから知った	261	51.5%	863	49.5%	421	56.9%	157	53.4%
知らない	111	21.9%	503	28.9%	169	22.8%	80	27.2%
計	507	100.0%	1,743	100.0%	740	100.0%	294	100.0%

表 6-2-2 年齢×猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	179	14.1%	93	10.2%	14	15.4%	7	38.9%
返還が始まる前までには知っていた	338	26.7%	144	15.8%	14	15.4%	3	16.7%
返還が始まってから知った	293	23.1%	262	28.8%	31	34.1%	1	5.6%
延滞督促を受けてから知った	25	2.0%	26	2.9%	0	0.0%	2	11.1%
知らない	433	34.1%	385	42.3%	32	35.2%	5	27.8%
計	1,268	100.0%	910	100.0%	91	100.0%	18	100.0%

(3)本人の年収と猶予制度の認知状況との関係

表 6-3-1 本人の年収×猶予制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年収	0円		1円～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	3	0.8%	7	1.4%	11	1.6%	15	2.1%
返還が始まる前までには知っていた	7	1.9%	19	3.7%	19	2.7%	11	1.6%
返還が始まってから知った	51	13.8%	75	14.7%	109	15.6%	135	19.2%
延滞督促を受けてから知った	215	58.3%	276	54.0%	370	52.9%	353	50.3%
知らない	93	25.2%	134	26.2%	191	27.3%	188	26.8%
計	369	100.0%	511	100.0%	700	100.0%	702	100.0%

認知状況 \ 年収	300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満		500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	9	2.0%	5	2.5%	3	2.9%	2	4.8%
返還が始まる前までには知っていた	15	3.3%	5	2.5%	5	4.9%	1	2.4%
返還が始まってから知った	92	20.1%	41	20.5%	21	20.6%	10	23.8%
延滞督促を受けてから知った	236	51.6%	95	47.5%	57	55.9%	18	42.9%
知らない	105	23.0%	54	27.0%	16	15.7%	11	26.2%
計	457	100.0%	200	100.0%	102	100.0%	42	100.0%

認知状況 \ 年収	700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万円以上		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	2	8.0%	0	0.0%	1	5.3%	3	2.9%
返還が始まる前までには知っていた	1	4.0%	1	7.1%	0	0.0%	2	1.9%
返還が始まってから知った	3	12.0%	6	42.9%	3	15.8%	16	15.5%
延滞督促を受けてから知った	13	52.0%	3	21.4%	8	42.1%	41	39.8%
知らない	6	24.0%	4	28.6%	7	36.8%	41	39.8%
計	25	100.0%	14	100.0%	19	100.0%	103	100.0%

表 6-3-2 本人の年収×猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年収	0円		1円～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	11	9.3%	22	13.9%	35	12.8%	71	13.4%
返還が始まる前までには知っていた	19	16.1%	19	12.0%	62	22.6%	134	25.3%
返還が始まってから知った	36	30.5%	60	38.0%	88	32.1%	125	23.6%
延滞督促を受けてから知った	2	1.7%	6	3.8%	10	3.6%	8	1.5%
知らない	50	42.4%	51	32.3%	79	28.8%	191	36.1%
計	118	100.0%	158	100.0%	274	100.0%	529	100.0%

認知状況 \ 年収	300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満		500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	57	11.5%	37	12.4%	17	10.0%	12	16.0%
返還が始まる前までには知っていた	126	25.5%	70	23.5%	34	20.0%	11	14.7%
返還が始まってから知った	127	25.7%	71	23.8%	39	22.9%	7	9.3%
延滞督促を受けてから知った	15	3.0%	6	2.0%	2	1.2%	1	1.3%
知らない	170	34.3%	114	38.3%	78	45.9%	44	58.7%
計	495	100.0%	298	100.0%	170	100.0%	75	100.0%

認知状況 \ 年収	700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万円以上		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	8	15.7%	6	20.0%	9	19.1%	4	13.8%
返還が始まる前までには知っていた	9	17.6%	4	13.3%	4	8.5%	4	13.8%
返還が始まってから知った	8	15.7%	7	23.3%	9	19.1%	9	31.0%
延滞督促を受けてから知った	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	3.4%
知らない	26	51.0%	13	43.3%	24	51.1%	11	37.9%
計	51	100.0%	30	100.0%	47	100.0%	29	100.0%

(4)猶予制度をどこから知ったか（複数回答）

猶予制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、猶予制度をどこから知ったかを質問した。

延滞者は「機構（旧日本育英会）からの通知で」、「相談センターに電話して」、「債権回収会社から」猶予制度を知った比率が無延滞者よりも高く、無延滞者は「返還のてびきを読んで」、「奨学金申請時・採用時の資料で」、「学校の説明会で」、「日本学生支援機構野ホームページで」猶予制度を知った比率が延滞者よりも高い。

※猶予制度をどこから知ったかは複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 6-4

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	126	5.3%	443	31.3%
「返還のてびき」を読んで	364	15.3%	709	50.1%
日本学生支援機構のホームページで	199	8.4%	196	13.9%
機構(旧日本育英会)からの通知で	874	36.8%	144	10.2%
相談センターに電話して	756	31.9%	26	1.8%
学校の説明会で	42	1.8%	281	19.9%
連帯保証人・保証人から	53	2.2%	15	1.1%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	72	3.0%	61	4.3%
債権回収会社から	306	12.9%	5	0.4%
その他	64	2.7%	32	2.3%
回答者数	2,373	100.0%	1,415	100.0%
無回答	48		17	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	111	5.6%	184	10.3%	176	10.9%	312	18.2%
「返還のてびき」を読んで	313	15.9%	395	22.0%	419	25.9%	554	32.2%
日本学生支援機構のホームページで	143	7.3%	254	14.2%	197	12.2%	238	13.9%
機構(旧日本育英会)からの通知で	731	37.1%	748	41.7%	742	45.8%	761	44.3%
相談センターに電話して	622	31.6%	634	35.3%	554	34.2%	647	37.7%
学校の説明会で	29	1.5%	43	2.4%	24	1.5%	49	2.9%
連帯保証人・保証人から	50	2.5%	92	5.1%	54	3.3%	101	5.9%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	62	3.1%	72	4.0%	60	3.7%	87	5.1%
債権回収会社から	235	11.9%	331	18.4%	254	15.7%	243	14.1%
その他	32	1.6%	43	2.4%	36	2.2%	32	1.9%
回答者数	1,969	100.0%	1,795	100.0%	1,619	100.0%	1,718	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	480	32.2%	761	42.3%	458	47.6%	590	52.4%
「返還のてびき」を読んで	749	50.3%	1,098	61.0%	612	63.6%	744	66.1%
日本学生支援機構のホームページで	200	13.4%	314	17.5%	147	15.3%	179	15.9%
機構(旧日本育英会)からの通知で	146	9.8%	239	13.3%	121	12.6%	169	15.0%
相談センターに電話して	31	2.1%	45	2.5%	18	1.9%	28	2.5%
学校の説明会で	230	15.4%	314	17.5%	160	16.6%	185	16.4%
連帯保証人・保証人から	24	1.6%	47	2.6%	15	1.6%	28	2.5%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	37	2.5%	88	4.9%	43	4.5%	61	5.4%
債権回収会社から	2	0.1%	16	0.9%	6	0.6%	6	0.5%
その他	66	4.4%	46	2.6%	22	2.3%	30	2.7%
回答者数	1,489	100.0%	1,799	100.0%	963	100.0%	1,125	100.0%

(5) 猶予制度の申請状況 (択一)

猶予制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に猶予の申請状況を質問した。

延滞者では、「現在、利用中である」が20.4%、「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」が25.3%と、無延滞者に比べて利用している比率が高いが、「申請したことがない」者も30.7%いる。

表 6-5

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
現在、利用中である	481	20.4%	10	0.7%
申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)	240	10.2%	23	1.6%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	599	25.3%	185	13.1%
申請したことはあるが、承認されなかった	228	9.6%	2	0.1%
申請したことがない	726	30.7%	1,179	83.7%
その他	89	3.8%	10	0.7%
計	2,363	100.0%	1,409	100.0%
無回答	58		23	

<参考> 過年度調査の結果【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
現在、利用中である	386	19.5%	321	16.6%	202	15.0%	198	11.6%
申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)	219	11.1%	286	14.8%	155	11.5%	146	8.6%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	480	24.3%	528	27.4%	472	35.1%	835	48.9%
申請したことはあるが、承認されなかった	177	9.0%	-	-	-	-	-	-
申請したことがない	636	32.2%	735	38.1%	405	30.1%	437	25.6%
その他	77	3.9%	58	3.0%	111	8.3%	91	5.3%
計	1,975	100.0%	1,928	100.0%	1,345	100.0%	1,707	100.0%

(6) 猶予申請をしない理由 (択一) ※延滞者にのみ質問

「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」と回答した者に、その理由を質問した。

「すでに猶予期間(通算120か月)を利用してしまったため」が29.3%で最も高い。

表 6-6-1 (「過去に利用あり」)

(単位：人)

区分	延滞者	
	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	107	18.8%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	36	6.3%
すでに猶予期間(通算120か月)を利用してしまったため	167	29.3%
猶予申請しないで返還する予定のため	89	15.6%
猶予申請手続きに手間がかかるため	58	10.2%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	57	10.0%
その他	55	9.7%
計	569	100.0%
無回答	30	

「申請したことがない」と回答した者に、その理由を質問した。

「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」が42.8%で最も高い。

表 6-6-2 (「申請したことがない」)

(単位：人)

区分	延滞者	
	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	100	19.5%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	23	4.5%
猶予申請しないで返還する予定のため	97	18.9%
猶予申請手続きに手間がかかるため	47	9.1%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	220	42.8%
その他	27	5.3%
計	514	100.0%
無回答	212	

7 減額返還制度について

(1)減額返還制度の認知状況（択一）

減額返還制度の認知率は、延滞者で 46.8%、無延滞者で 44.2%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で 26.0%であるのに対し、延滞者では 2.5%と大きな差がみられる。また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が 33.7%と無延滞者に比べて高い。

表 7-1 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	36	1.1%	175	7.9%
返還が始まる前までには知っていた	44	1.4%	404	18.1%
返還が始まってから知った	344	10.6%	371	16.7%
延滞督促を受けてから知った	1,092	33.7%	34	1.5%
知らない	1,722	53.2%	1,242	55.8%
計	3,238	100.0%	2,226	100.0%
無回答	91		70	

(2)年齢と減額返還制度の認知状況との関係

表 7-2-1 年齢×減額返還制度の認知状況【延滞者】 (単位：人)

認知状況	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	14	2.8%	16	0.9%	6	0.8%	0	0.0%
返還が始まる前までには知っていた	21	4.2%	15	0.9%	7	1.0%	1	0.4%
返還が始まってから知った	63	12.5%	196	11.4%	62	8.5%	23	8.1%
延滞督促を受けてから知った	163	32.5%	540	31.3%	277	38.2%	112	39.3%
知らない	241	48.0%	958	55.5%	374	51.5%	149	52.3%
計	502	100.0%	1,725	100.0%	726	100.0%	285	100.0%

表 7-2-2 年齢×減額返還制度の認知状況【無延滞者】 (単位：人)

認知状況	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	109	8.9%	55	6.2%	6	6.9%	5	26.3%
返還が始まる前までには知っていた	286	23.3%	101	11.3%	14	16.1%	3	15.8%
返還が始まってから知った	186	15.1%	166	18.6%	17	19.5%	2	10.5%
延滞督促を受けてから知った	20	1.6%	14	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
知らない	628	51.1%	555	62.3%	50	57.5%	9	47.4%
計	1,229	100.0%	891	100.0%	87	100.0%	19	100.0%

(3)本人の年収と減額返還制度の認知状況との関係

表 7-3-1 本人の年収×減額返還制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年収	0円		1円～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	3	0.8%	7	1.4%	5	0.7%	9	1.3%
返還が始まる前までには知っていた	4	1.1%	7	1.4%	11	1.6%	10	1.4%
返還が始まってから知った	27	7.4%	53	10.5%	74	10.7%	70	10.1%
延滞督促を受けてから知った	141	38.6%	189	37.3%	245	35.5%	212	30.6%
知らない	190	52.1%	251	49.5%	355	51.4%	392	56.6%
計	365	100.0%	507	100.0%	690	100.0%	693	100.0%

認知状況 \ 年収	300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満		500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	4	0.9%	2	1.0%	3	3.0%	8	2.4%
返還が始まる前までには知っていた	8	1.8%	1	0.5%	1	1.0%	1	2.4%
返還が始まってから知った	57	12.6%	25	12.8%	13	13.0%	3	7.1%
延滞督促を受けてから知った	149	33.0%	60	30.6%	32	32.0%	12	28.6%
知らない	234	51.8%	108	55.1%	51	51.0%	25	59.5%
計	452	100.0%	196	100.0%	100	100.0%	42	100.0%

認知状況 \ 年収	700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万円以上		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	1.0%
返還が始まる前までには知っていた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
返還が始まってから知った	4	16.0%	5	35.7%	1	4.8%	7	7.3%
延滞督促を受けてから知った	5	20.0%	2	14.3%	6	28.6%	28	29.2%
知らない	16	64.0%	7	50.0%	13	61.9%	59	61.5%
計	25	100.0%	14	100.0%	21	100.0%	96	100.0%

表 7-3-2 本人の年収×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年収	0円		1円～ 100万円未満		100万～ 200万円未満		200万～ 300万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	8	6.8%	14	9.2%	27	10.1%	36	7.0%
返還が始まる前までには知っていた	16	13.6%	22	14.4%	42	15.7%	119	23.0%
返還が始まってから知った	22	18.6%	42	27.5%	51	19.0%	81	15.7%
延滞督促を受けてから知った	2	1.7%	5	3.3%	9	3.4%	4	0.8%
知らない	70	59.3%	70	45.8%	139	51.9%	277	53.6%
計	118	100.0%	153	100.0%	268	100.0%	517	100.0%

認知状況 \ 年収	300万～ 400万円未満		400万～ 500万円未満		500万～ 600万円未満		600万～ 700万円未満	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	30	6.3%	22	7.6%	10	6.1%	8	10.7%
返還が始まる前までには知っていた	90	18.9%	61	21.1%	25	15.2%	10	13.3%
返還が始まってから知った	86	18.1%	48	16.6%	22	13.4%	4	5.3%
延滞督促を受けてから知った	6	1.3%	4	1.4%	2	1.2%	0	0.0%
知らない	264	55.5%	154	53.3%	105	64.0%	53	70.7%
計	476	100.0%	289	100.0%	164	100.0%	75	100.0%

認知状況 \ 年収	700万～ 800万円未満		800万～ 900万円未満		900万円以上		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	6	11.8%	6	20.0%	3	6.4%	4	14.3%
返還が始まる前までには知っていた	6	11.8%	2	6.7%	7	14.9%	1	3.6%
返還が始まってから知った	3	5.9%	5	16.7%	3	6.4%	4	14.3%
延滞督促を受けてから知った	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	3.6%
知らない	36	70.6%	17	56.7%	33	70.2%	18	64.3%
計	51	100.0%	30	100.0%	47	100.0%	28	100.0%

(4)減額返還制度をどこから知ったか（複数回答）

減額返還制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、減額返還制度をどこから知ったかを質問した。

延滞者は「機構（旧日本育英会）からの通知で」、「相談センターに電話して」減額返還制度を知った比率が無延滞者よりも高く、無延滞者は「返還のてびきを読んで」、「奨学金申請時・採用時の資料で」、「学校の説明会で」減額返還制度を知った比率が延滞者よりも高い。

※減額返還制度をどこから知ったかは複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 7-4

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料で	78	5.3%	284	29.2%
「返還のてびき」を読んで	172	11.8%	520	53.5%
日本学生支援機構のホームページで	153	10.5%	150	15.4%
機構(旧日本育英会)からの通知で	538	36.9%	94	9.7%
相談センターに電話して	480	32.9%	15	1.5%
学校の説明会で	24	1.6%	206	21.2%
連帯保証人・保証人から	27	1.9%	7	0.7%
連帯保証人・保証人以外の家族・友人から	33	2.3%	21	2.2%
債権回収会社から	214	14.7%	3	0.3%
その他	36	2.5%	25	2.6%
回答者数	1,459	100.0%	972	100.0%
無回答	57		12	

(5)減額返還制度の利用状況（択一）

減額返還制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、減額返還制度の利用状況を質問した。

減額返還制度の利用率は、延滞者は25.5%であるのに対し、無延滞者では2.9%である。

表 7-5

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
利用したことがある	371	25.5%	28	2.9%
利用したことがない	1,084	74.5%	951	97.1%
計	1,455	100.0%	979	100.0%
無回答	61		5	

8 無延滞者の状況※無延滞者にのみ質問

(1)延滞経験の有無（択一）

調査時点で無延滞の者に、これまでに延滞したことがあるか質問した。

「延滞したことがある」者は19.2%である。

表 8-1 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
延滞したことがない	1,714	75.0%
延滞したことがある	438	19.2%
わからない	133	5.8%
計	2,285	100.0%
無回答	11	

<参考> 過年度調査の結果【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
延滞したことがない	1,714	71.7%	2,279	73.4%	1,568	72.5%	1,901	76.1%
延滞したことがある	528	22.1%	627	20.2%	458	21.2%	469	18.8%
わからない	148	6.2%	201	6.5%	137	6.3%	129	5.2%
計	2,390	100.0%	3,107	100.0%	2,163	100.0%	2,499	100.0%

(2)延滞になったことをどこから知ったか（複数回答）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことをどこから知ったかを質問した。

「機構（旧日本育英会）からの振替不能（延滞）通知」が66.4%で最も高く、次いで「口座残高を確認して」26.3%、「機構（旧日本育英会）からの電話」25.9%である。

※延滞になったことをどこから知ったかは複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は100%を超える。

表 8-2 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知	290	66.4%
機構(旧日本育英会)からの電話	113	25.9%
連帯保証人・保証人からの連絡	21	4.8%
口座残高を確認して	115	26.3%
親・家族等からの連絡	27	6.2%
債権回収会社からの連絡	33	7.6%
その他	9	2.1%
回答者数	437	100.0%
無回答	1	

(3)延滞の解消方法（複数回答）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消した方法を質問した。

「本人が延滞額を支払った（口座振替を含む）」の比率が 83.0%で最も高い。

※延滞の解消方法は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は 100%を超える。

表 8-3 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)	362	83.0%
本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)	60	13.8%
返還期限猶予が承認された	20	4.6%
その他	8	1.8%
回答者数	436	100.0%
無回答	2	

<参考> 過年度調査の結果【無延滞者】 (単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人が延滞額を支払った(口座振替を含む)	424	80.9%	500	82.1%	359	82.7%	386	85.2%
本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)	77	14.7%	95	15.6%	74	17.1%	64	14.1%
返還期限猶予が承認された	30	5.7%	53	8.7%	34	7.8%	29	6.4%
その他	10	1.9%	14	2.3%	8	1.8%	6	1.3%
回答者数	524	100.0%	609	100.0%	434	100.0%	453	100.0%

(4)延滞をより早く解消できたと思われる返還方法（複数回答）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞をより早く解消できたと思われる方法を質問した。

「払込票（コンビニ支払い）」の比率が 55.1%で最も高い。

※延滞をより早く解消できたと思われる方法は複数回答のため、回答者数に対する各回答の比率の合計は 100%を超える。

表 8-4 (単位：人)

区分	無延滞者	
	人数	比率
振替用口座（リレー口座）からの引落とし(延滞額の一部でも)	152	38.4%
機構の口座への振込み	91	23.0%
払込票(コンビニ支払い)	218	55.1%
インターネットバンキング(振込)	57	14.4%
債権回収会社	6	1.5%
その他	18	4.5%
回答者数	396	100.0%
無回答	42	

(5) 繰上返還制度の認知状況（択一）

返還期日がきていない将来の返還分の一部または全額を繰り上げて返還することができる繰上返還制度を「知っている」と回答した者（「よく知っている」＋「だいたい知っている」の合計）は、67.2%である。

表 8-5 (単位：人)

区分	無延滞者		
	人数	比率	
よく知っている	348	15.3%	67.2%
だいたい知っている	1,180	51.9%	
あまり知らない	478	21.0%	32.8%
知らない	269	11.8%	
計	2,275	100.0%	100.0%
無回答	21		

(6) 個人信用情報機関への登録の認知状況（択一）

一定期間延滞した場合の個人信用情報機関への登録を「知っている」と回答した者（「知っている（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）は、39.8%である。

表 8-6 (単位：人)

区分	無延滞者		
	人数	比率	
よく知っている	265	11.7%	39.8%
だいたい知っている	635	28.1%	
あまり知らない	682	30.2%	60.2%
知らない	680	30.1%	
計	2,262	100.0%	100.0%
無回答	34		

<参考> 過年度調査の結果【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	257	11.0%	265	8.7%	196	9.2%	208	8.3%
だいたい知っている	632	27.2%	786	25.8%	519	24.3%	541	21.6%
あまり知らない	637	27.4%	798	26.2%	563	26.4%	642	25.7%
知らない	801	34.4%	1,197	39.3%	855	40.1%	1,110	44.4%
計	2,327	100.0%	3,046	100.0%	2,133	100.0%	2,501	100.0%

(7)スカラネット・パーソナルの認知状況（択一）

インターネット上で自分自身の奨学金に関する情報や登録されている内容を閲覧したり、転居・改姓・勤務先変更等の届出ができるスカラネット・パーソナルを「知っている」と回答した者（「よく知っている」＋「だいたい知っている」）は、42.5%である。

表 8-7 (単位：人)

区分	無延滞者		
	人数	比率	
よく知っている	294	12.9%	42.5%
だいたい知っている	671	29.5%	
あまり知らない	655	28.8%	57.5%
知らない	653	28.7%	
計	2,273	100.0%	100.0%
無回答	23		

<参考> 過年度調査の結果【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
よく知っている	331	14.2%	279	9.1%	163	7.6%	126	5.0%
だいたい知っている	635	27.3%	736	24.1%	387	18.1%	347	13.9%
あまり知らない	565	24.3%	821	26.8%	524	24.5%	626	25.0%
知らない	796	34.2%	1,223	40.0%	1,067	49.8%	1,403	56.1%
計	2,327	100.0%	3,059	100.0%	2,141	100.0%	2,502	100.0%

9 日本学生支援機構からの情報提供について

(1)日本学生支援機構からの送付文書類の閲覧状況（択一）

日本学生支援機構から送付した文書類を「見る」と回答した者（「必ず見る」＋「だいたい見る」）は、延滞者では80.2%、無延滞者では88.3%である。

表 9-1 (単位：人)

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
必ず見る	1,266	38.6%	80.2%	1,187	51.8%	88.3%
だいたい見る	1,366	41.6%		836	36.5%	
あまり見ない	483	14.7%	16.6%	201	8.8%	10.2%
見ない	63	1.9%		32	1.4%	
届いていない	55	1.7%	1.7%	31	1.4%	1.4%
その他	47	1.4%	1.4%	5	0.2%	0.2%
計	3,280	100.0%	100.0%	2,292	100.0%	100.0%
無回答	49			4		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
必ず見る	894	32.0%	1,024	35.1%	1,701	45.8%	1,743	42.8%
だいたい見る	1,178	42.2%	1,242	42.5%	1,441	38.8%	1,603	39.4%
あまり見ない	506	18.1%	455	15.6%	413	11.1%	472	11.6%
見ない	93	3.3%	79	2.7%	68	1.8%	92	2.3%
届いていない	76	2.7%	72	2.5%	48	1.3%	106	2.6%
その他	44	1.6%	47	1.6%	41	1.1%	53	1.3%
計	2,791	100.0%	2,919	100.0%	3,712	100.0%	4,069	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
必ず見る	1,021	42.6%	1,356	43.6%	1,094	50.6%	1,097	43.6%
だいたい見る	952	39.7%	1,286	41.3%	796	36.8%	942	37.5%
あまり見ない	306	12.8%	358	11.5%	209	9.7%	329	13.1%
見ない	57	2.4%	66	2.1%	42	1.9%	71	2.8%
届いていない	56	2.3%	37	1.2%	16	0.7%	67	2.7%
その他	4	0.2%	8	0.3%	6	0.3%	9	0.4%
計	2,396	100.0%	3,111	100.0%	2,163	100.0%	2,515	100.0%

(2)日本学生支援機構のホームページの閲覧状況（択一）

機構ホームページの閲覧状況について、延滞者では 58.2%、無延滞者では 48.9%が「見たことはない」と回答している。また、延滞者では「見ることができない」も 11.7%いる。

表 9-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
およそ1ヶ月に1回以上見る	14	0.4%	6	0.3%
年に数回見る	173	5.3%	246	10.7%
過去に見たことがある	786	23.9%	864	37.7%
見たことはない	1,912	58.2%	1,120	48.9%
見ることができない	385	11.7%	55	2.4%
その他	15	0.5%	1	0.0%
計	3,285	100.0%	2,292	100.0%
無回答	44		4	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
およそ1ヶ月に1回以上見る	10	0.4%	26	0.9%	23	0.6%	28	0.7%
年に数回見る	155	5.5%	149	5.1%	154	4.2%	166	4.1%
過去に見たことがある	650	23.1%	681	23.4%	736	20.0%	746	18.4%
見たことはない	1,664	59.3%	1,745	60.0%	2,128	57.8%	2,334	57.7%
見ることができない	310	11.0%	289	9.9%	581	15.8%	748	18.5%
その他	19	0.7%	20	0.7%	58	1.6%	24	0.6%
計	2,808	100.0%	2,910	100.0%	3,680	100.0%	4,046	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
およそ1ヶ月に1回以上見る	9	0.4%	17	0.5%	7	0.3%	6	0.2%
年に数回見る	237	9.9%	266	8.6%	139	6.4%	123	4.9%
過去に見たことがある	929	38.7%	1,170	37.6%	723	33.4%	797	31.7%
見たことはない	1,191	49.6%	1,575	50.6%	1,235	57.1%	1,500	59.7%
見ることができない	28	1.2%	74	2.4%	48	2.2%	79	3.1%
その他	7	0.3%	8	0.3%	11	0.5%	7	0.3%
計	2,401	100.0%	3,110	100.0%	2,163	100.0%	2,512	100.0%

(3)日本学生支援機構からの情報提供について（択一）

日本学生支援機構からの情報提供について、十分だと感じている者（「そう思う」＋「とてもそう思う」）は、延滞者では22.2%、無延滞者では41.1%である。

表 9-3

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者			
	人数	比率	人数	比率	比率	
とてもそう思う	84	2.6%	22.2%	87	3.8%	41.1%
そう思う	643	19.6%		855	37.3%	
どちらともいえない	1,604	48.9%	48.9%	1,010	44.1%	44.1%
そう思わない	616	18.8%	28.9%	263	11.5%	14.8%
まったくそう思わない	331	10.1%		75	3.3%	
計	3,278	100.0%	100.0%	2,290	100.0%	100.0%
無回答	51			6		

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	112	4.1%	144	5.1%	171	4.8%	228	5.8%
そう思う	607	22.2%	577	20.4%	948	26.7%	1,044	26.5%
どちらともいえない	1,173	42.9%	1,242	43.8%	1,443	40.7%	1,626	41.2%
そう思わない	542	19.8%	550	19.4%	696	19.6%	750	19.0%
まったくそう思わない	298	10.9%	322	11.4%	288	8.1%	298	7.6%
計	2,732	100.0%	2,835	100.0%	3,546	100.0%	3,946	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
とてもそう思う	120	5.0%	100	3.2%	95	4.4%	130	5.2%
そう思う	823	34.6%	1,012	32.7%	763	35.4%	827	33.0%
どちらともいえない	1,050	44.1%	1,351	43.7%	946	43.9%	1,064	42.5%
そう思わない	292	12.3%	469	15.2%	292	13.5%	376	15.0%
まったくそう思わない	96	4.0%	163	5.3%	61	2.8%	108	4.3%
計	2,381	100.0%	3,095	100.0%	2,157	100.0%	2,505	100.0%

10 日本学生支援機構の奨学金に対する意識

(1)奨学金がどのように役に立ったか（複数回答）

奨学金がどのように役に立ったかについて、延滞者では「奨学金のおかげで進学可能となった」が60.0%で最も高く、無延滞者では「家計の負担を軽減できた」が66.4%で最も高い。

表 10-1-1 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学金のおかげで進学可能となった	1,941	60.0%	1,160	50.7%
修学費に充てる金額を多くできた	467	14.4%	509	22.2%
家計の負担を軽減できた	1,527	47.2%	1,521	66.4%
アルバイトの時間を減らすことができた	316	9.8%	415	18.1%
その他	57	1.8%	35	1.5%
役に立たなかった・わからない	125	3.9%	21	0.9%
回答者数	3,234	100.0%	2,289	100.0%
無回答	95		7	

回答者のうち、2つ以上の効果を感じている者は、延滞者では28.1%、無延滞者では42.2%である。

表 10-1-2 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
いずれか1つの効果を感じている人	2,200	68.0%	1,301	56.8%
2つ以上の効果を感じている人	909	28.1%	967	42.2%
いずれの効果も感じていない人	125	3.9%	21	0.9%
計	3,234	100.0%	2,289	100.0%

(2)奨学金の返還は負担になっているか（択一）

「現在、奨学金の返還が負担になっている」と感じている者（「とてもそう思う」＋「そう思う」の合計）は、延滞者では88.1%、無延滞者では48.3%である。

表 10-2 (単位：人)

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
とてもそう思う	1,868	56.5%	88.1%	459	20.0%	48.3%
そう思う	1,045	31.6%		649	28.3%	
どちらともいえない	311	9.4%	9.4%	555	24.2%	24.2%
そう思わない	72	2.2%	2.5%	495	21.6%	27.5%
まったくそう思わない	11	0.3%		136	5.9%	
計	3,307	100.0%	100.0%	2,294	100.0%	100.0%
無回答	22			2		

(3)延滞への対応はきびしいと感じるか（択一）

「延滞への対応がきびしい」と感じている者（「とてもそう思う」＋「そう思う」の合計）は、延滞者では64.0%、無延滞者では15.5%である。

表 10-3 (単位：人)

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
とてもそう思う	1,223	37.2%	64.0%	120	5.3%	15.5%
そう思う	882	26.8%		234	10.2%	
どちらともいえない	856	26.0%	26.0%	1,042	45.6%	45.6%
そう思わない	290	8.8%	10.0%	590	25.8%	38.9%
まったくそう思わない	40	1.2%		297	13.0%	
計	3,291	100.0%	100.0%	2,283	100.0%	100.0%
無回答	38			13		

(4)奨学金返還について（択一）※無延滞者にのみ質問

奨学金は「借りたものなので必ず返さなければならない」と思っている者（「とてもそう思う」＋「そう思う」の合計）は、92.8%である。一方、「回収は強化すべき」と感じている者（「とてもそう思う」＋「そう思う」の合計）は48.7%に留まっている。

表 10-4 (単位：人)

区分	借りたものなので必ず返さなければならない			回収は強化すべき		
	人数	比率		人数	比率	
とてもそう思う	1,184	51.6%	92.8%	480	21.0%	48.7%
そう思う	945	41.2%		635	27.7%	
どちらともいえない	137	6.0%	6.0%	1,036	45.2%	45.2%
そう思わない	17	0.7%	1.2%	108	4.7%	6.1%
まったくそう思わない	11	0.5%		32	1.4%	
計	2,294	100.0%	100.0%	2,291	100.0%	100.0%
無回答	2			5		

奨学金の返還に関するアンケート

重要

※このたびは、本調査にご協力を賜りありがとうございます。以下の設問に回答をお願いいたします。

※設問の中で「奨学生本人」または「本人」は、奨学金の貸与を受けられた方(挨拶状の宛名に印字された方)のことです。

1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 奨学生本人 | (2) 本人の親 |
| (3) 本人の配偶者(夫または妻)、パートナー | (4) その他() |

2 奨学生本人の状況についてお聞きます。本人の就労状況について、最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------------------------|
| (1) 正社(職)員・従業員/常勤社(職)員・従業員 | (2) その他の社(職)員・従業員(パート・アルバイト、派遣、契約社員等) |
| (3) 自営業/家業 | (4) 学生(留学を含む) |
| (5) 専業主婦(夫) | (6) 無職・失業中/休職中 |
| (7) その他() | |

3 奨学生本人の収入についてお聞きます。この1年間の収入はどれくらいでしたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。ボーナスや臨時収入も含め、税込みでご回答ください。

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| (1) 0円 | (2) 100万円未満 | (3) 100～200万円未満 |
| (4) 200～300万円未満 | (5) 300～400万円未満 | (6) 400～500万円未満 |
| (7) 500～600万円未満 | (8) 600～700万円未満 | (9) 700～800万円未満 |
| (10) 800～900万円未満 | (11) 900万円以上 | (12) わからない |

4 奨学生本人はどなたと同居していますか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------------|-----------|
| (1) 奨学生本人の親 | (2) 配偶者(夫または妻)、パートナー | (3) 子ども |
| (4) その他() | (5) 同居者はいない(一人暮らし) | (6) わからない |

4-2 「配偶者(夫または妻)、パートナー」と同居している方にお聞きます。その方は、JASSO奨学金の貸与を受けていましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| (1) 配偶者はJASSO奨学金の貸与を受けていた | (2) 配偶者はJASSO奨学金の貸与を受けていない |
| (3) わからない | |

5 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------|
| (1) 申込手続きを行う前 | (2) 申込手続中 | (3) 貸与中 |
| (4) 貸与終了時 | (5) 貸与終了後～返還開始前 | (6) 返還開始～督促前 |
| (7) 延滞督促を受けてから | (8) その他() | (9) わからない |

6 大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (1) 高校入学より前 | (2) 高校1年生の時点 |
| (3) 高校2年生の時点 | (4) 高校3年生の時点 |
| (5) 高校卒業後(浪人中、進学してから) | (6) わからない |

7 奨学金の申請を勧めたのはどなたですか。最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| (1) 奨学生本人が自分で決めた(勧めた人は特にいない) | (2) 親(または祖父母等の家族、親戚)が勧めた |
| (3) 学校の先生や職員が勧めた | (4) 友人・知人が勧めた |
| (5) 「(2)～(4)」以外の人が勧めた() | (6) わからない |

8 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------------|
| (1) 奨学生本人 | (2) 親(または祖父母等の家族、親戚) |
| (3) 本人と親等 | (4) その他() |
| (5) わからない | |

9 主に奨学金を返還する方(お金を払う方)はどなたですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。
※現在の状況をお答えください。

- | | |
|--------------------------------|------------|
| (1) 奨学生本人 | (2) 本人の親 |
| (3) 本人の配偶者(夫または妻)、パートナー | (4) その他() |
| (5) <u>現在は返還できていない →問 11 へ</u> | |

10 問 9 でお答えいただいた「主に奨学金を返還する方」は、そのための資金をどのように得ていますか。
主なものの番号に一つだけ○をつけてください。※現在の状況をお答えください。

- | | | |
|-----------------|------------|--------|
| (1) 給与など働いて得る収入 | (2) 預貯金 | (3) 年金 |
| (4) 公的な補助金・給付金 | (5) その他() | |

11 奨学生本人が病気や経済困難(年収 300 万円以下が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) 奨学金を申し込む前から知っていた | (2) 返還が始まる前までには知っていた |
| (3) 返還が始まってから知った | (4) 延滞督促を受けてから知った |
| (5) <u>知らない →問 13 へ</u> | |

12 問 11 で「(1)～(4)」と回答した方にお聞きます。「(5) 知らない」と回答した方は問 13 へ

(ア) 返還期限猶予制度をどこから知りましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| (1) 奨学金申請時・採用時の資料で | (2) 「返還のてびき」を読んで |
| (3) 日本学生支援機構のホームページで | (4) 機構(旧日本育英会)からの通知で |
| (5) 返還相談センターに電話して | (6) 学校の説明会で |
| (7) 連帯保証人・保証人から | (8) 連帯保証人・保証人以外の家族や友人・知人から |
| (9) 債権回収会社から | (10) その他() |

(イ) 返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 現在、利用中である | (2) 申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む) |
| (3) 過去に利用したことがあるが、今は利用していない | (4) 申請したことはあるが、承認されなかった |
| (5) 申請したことがない | (6) その他() |

(ウ) 問イで「(3) 過去に利用したことがあるが、今は利用していない」または「(4) 申請したことはあるが、承認されなかった」「(5) 申請したことがない」と回答した方にお聞きます。利用しない理由について最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。(問イ)で「(3)」「(4)」「(5)」以外を選択した方は問(エ)へ。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| (1) 返還期限猶予制度の基準に該当しないため | (2) 延滞期間に関する証明書の取得が困難なため |
| (3) すでに猶予期間(通算 120 か月)を利用してしまったため | (4) 猶予申請しないで返還する予定のため |
| (5) 猶予申請手続きに手間がかかるため | (6) 手続きがよくわからない、よく知らなかったため |
| (7) その他() | |

(エ) 返還期限猶予制度の猶予期間は、平成 26 年度に通算 60 か月から通算 120 か月に延長されました。猶予期間(通算 120 か月)についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|----------------|---------------|----------------|--------|
| (1) 短い | (2) どちらかといえば短い | (3) どちらともいえない | (4) どちらかといえば十分 | (5) 十分 |
|--------|----------------|---------------|----------------|--------|

13 奨学生本人が病気や経済困難(年収 325 万円以下が目安)等である場合、申請により返還期限を延長し返還の月額を減額する減額返還制度がありますが、この制度をご存知ですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 奨学金を申し込む前から知っていた | (2) 返還が始まる前までには知っていた |
| (3) 返還が始まってから知った | (4) 延滞督促を受けてから知った |
| (5) 知らない →問 15 へ | |

14 問 13 で「(1) ~ (4)」と回答した方にお聞きます。「(5) 知らない」と回答した方は問 15 へ

(ア) 減額返還制度をどこから知りましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| (1) 奨学金申請時・採用時の資料で | (2) 「返還のてびき」を読んで |
| (3) 日本学生支援機構のホームページで | (4) 機構(旧日本育英会)からの通知で |
| (5) 返還相談センターに電話して | (6) 学校の説明会で |
| (7) 連帯保証人・保証人から | (8) 連帯保証人・保証人以外の家族や友人・知人から |
| (9) 債権回収会社から | (10) その他() |

(イ) 減額返還制度の利用についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 利用したことがある | (2) 利用したことがない |
|---------------|---------------|

15 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| (1) 必ず見る | (2) だいたい見る | (3) あまり見ない |
| (4) 見ない | (5) 届いていない | (6) その他() |

16 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。このホームページの閲覧についてお聞きます。最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|-------------|----------------|
| (1) おおよそ 1 か月に 1 回以上見る | (2) 年に数回見る | (3) 過去に見たことがある |
| (4) 見たことはない | (5) 見るができない | (6) その他() |

17 日本学生支援機構の奨学金に対してどのように感じていますか。(ア)~(ウ)それぞれについて、あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

(ア) 日本学生支援機構からの情報提供は十分である

- | | | | | |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|
| (1) とてもそう思う | (2) そう思う | (3) どちらともいえない | (4) そう思わない | (5) 全くそう思わない |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|

(イ) 現在、奨学金の返還が負担になっている

- (1) とてもそう思う (2) そう思う (3) どちらともいえない (4) そう思わない (5) 全くそう思わない

(ウ) 延滞への対応がきびしい

- (1) とてもそう思う (2) そう思う (3) どちらともいえない (4) そう思わない (5) 全くそう思わない

18 延滞が始まった理由(きっかけ)についてお聞きます。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) 忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど) (2) 返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス
 (3) 家計の収入が減った (4) 家計の支出が増えた
 (5) 入院、事故、災害等にあつたため (6) 奨学金は返還するものだとは思っていなかった
 (7) その他()

18-2 上記で○をつけた理由の中で最も大きな理由の番号をひとつご記入ください。⇒

19 延滞が継続した理由についてお聞きます。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) 本人の低所得 (2) 本人が失業中(無職)
 (3) 本人が学生(留学を含む) (4) 本人が病気療養中
 (5) 本人の借入金の返済 (6) 本人の親の経済困難(本人が親へ経済援助をしており支出が多い)
 (7) 本人の親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている) (8) 本人の配偶者の経済困難
 (9) 家族の病気療養 (10) 忙しい(金融機関に行けない等)
 (11) 奨学金の延滞額の増加 (12) 奨学金は返還するものだとは思っていない
 (13) その他()

19-2 上記で○をつけた理由の中で最も大きな理由の番号をひとつご記入ください。⇒

20 日本学生支援機構の奨学金は主にどのように役立ちましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) 奨学金のおかげで進学が可能となった (2) 修学費に充てる金額を多くできた
 (3) 家計の負担を軽減できた (4) アルバイトの時間を減らすことができた
 (5) その他()

21 日本学生支援機構の奨学金制度について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

この回答用紙および同封の返信用封筒は、個別のご相談にはご利用いただけません。
 ○ご相談、お問合せは「奨学金返還相談センター」までお願いします。
 電話 : 0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)
 月曜～金曜・8時30分～20時00分(祝日・年末年始を除く)
 ナビダイヤルをご利用できない場合は 03-6743-6100 へおかけください。
 日本学生支援機構ホームページ << <http://www.jasso.go.jp/> >>

ご協力ありがとうございました。

奨学金の返還に関するアンケート

重要

※このたびは、本調査にご協力を賜りありがとうございます。以下の設問に回答をお願いいたします。

※設問の中で「奨学生本人」または「本人」は、奨学金の貸与を受けられた方(挨拶状の宛名に印字された方)のことです。

1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 奨学生本人 | (2) 本人の親 |
| (3) 本人の配偶者(夫または妻)、パートナー | (4) その他() |

2 奨学生本人の状況についてお聞きます。本人の就労状況について、最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------------------------|
| (1) 正社(職)員・従業員/常勤社(職)員・従業員 | (2) その他の社(職)員・従業員(パート・アルバイト、派遣、契約社員等) |
| (3) 自営業/家業 | (4) 学生(留学を含む) |
| (5) 専業主婦(夫) | (6) 無職・失業中/休職中 |
| (7) その他() | |

3 奨学生本人の収入についてお聞きます。この1年間の収入はどれくらいでしたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。ボーナスや臨時収入も含め、税込みでご回答ください。

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| (1) 0円 | (2) 100万円未満 | (3) 100～200万円未満 |
| (4) 200～300万円未満 | (5) 300～400万円未満 | (6) 400～500万円未満 |
| (7) 500～600万円未満 | (8) 600～700万円未満 | (9) 700～800万円未満 |
| (10) 800～900万円未満 | (11) 900万円以上 | (12) わからない |

4 奨学生本人はどなたと同居していますか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------------------|-----------|
| (1) 奨学生本人の親 | (2) 配偶者(夫または妻)、パートナー | (3) 子ども |
| (4) その他() | (5) 同居者はいない(一人暮らし) | (6) わからない |

4-2 「配偶者(夫または妻)、パートナー」と同居している方にお聞きます。その方は、JASSO 奨学金の貸与を受けていましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 配偶者は JASSO 奨学金の貸与を受けていた | (2) 配偶者は JASSO 奨学金の貸与を受けていない |
| (3) わからない | |

5 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------|
| (1) 申込手続きを行う前 | (2) 申込手続中 | (3) 貸与中 |
| (4) 貸与終了時 | (5) 貸与終了後～返還開始前 | (6) 返還開始～督促前 |
| (7) 延滞督促を受けてから | (8) その他() | (9) わからない |

6 大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きます。奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (1) 高校入学より前 | (2) 高校1年生の時点 |
| (3) 高校2年生の時点 | (4) 高校3年生の時点 |
| (5) 高校卒業後(浪人中、進学してから) | (6) わからない |

7 奨学金の申請を勧めたのはどなたですか。最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| (1) 奨学生本人が自分で決めた(勧めた人は特にいない) | (2) 親(または祖父母等の家族、親戚)が勧めた |
| (3) 学校の先生や職員が勧めた | (4) 友人・知人が勧めた |
| (5) 「(2)～(4)」以外の人が勧めた() | (6) わからない |

8 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------------|
| (1) 奨学生本人 | (2) 親(または祖父母等の家族、親戚) |
| (3) 本人と親等 | (4) その他() |
| (5) わからない | |

9 主に奨学金を返還する方(お金を払う方)はどなたですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。
※現在の状況をお答えください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 奨学生本人 | (2) 本人の親 |
| (3) 本人の配偶者(夫または妻)、パートナー | (4) その他() |

10 問9でお答えいただいた「主に奨学金を返還する方」は、そのための資金をどのように得ていますか。
主なものの番号に一つだけ○をつけてください。※現在の状況をお答えください。

- | | | |
|-----------------|------------|--------|
| (1) 給与など働いて得る収入 | (2) 預貯金 | (3) 年金 |
| (4) 公的な補助金・給付金 | (5) その他() | |

11 奨学生本人が病気や経済困難(年収 300 万円以下が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 奨学金を申し込む前から知っていた | (2) 返還が始まる前までには知っていた |
| (3) 返還が始まってから知った | (4) 延滞督促を受けてから知った |
| (5) 知らない →問 13 へ | |

12 問11で「(1)～(4)」と回答した方にお聞きます。「(5) 知らない」と回答した方は問13へ

(ア) 返還期限猶予制度をどこから知りましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| (1) 奨学金申請時・採用時の資料で | (2) 「返還のてびき」を読んで |
| (3) 日本学生支援機構のホームページで | (4) 機構(旧日本育英会)からの通知で |
| (5) 返還相談センターに電話して | (6) 学校の説明会で |
| (7) 連帯保証人・保証人から | (8) 連帯保証人・保証人以外の家族や友人・知人から |
| (9) 債権回収会社から | (10) その他() |

(イ) 返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 現在、利用中である | (2) 申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む) |
| (3) 過去に利用したことがあるが、今は利用していない | (4) 申請したことはあるが、承認されなかった |
| (5) 申請したことがない | (6) その他() |

13 奨学生本人が病気や経済困難(年収 325 万円以下が目安)等である場合、申請により返還期限を延長し返還の月額を減額する減額返還制度がありますが、この制度をご存知ですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 奨学金を申し込む前から知っていた | (2) 返還が始まる前までには知っていた |
| (3) 返還が始まってから知った | (4) 延滞督促を受けてから知った |
| (5) 知らない →問 15 へ | |

14 問 13 で「(1) ～(4)」と回答した方にお聞きます。「(5) 知らない」と回答した方は問 15 へ

(ア) 減額返還制度をどこから知りましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| (1) 奨学金申請時・採用時の資料で | (2) 「返還のてびき」を読んで |
| (3) 日本学生支援機構のホームページで | (4) 機構(旧日本育英会)からの通知で |
| (5) 返還相談センターに電話して | (6) 学校の説明会で |
| (7) 連帯保証人・保証人から | (8) 連帯保証人・保証人以外の家族や友人・知人から |
| (9) 債権回収会社から | (10) その他() |

(イ) 減額返還制度の利用についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 利用したことがある | (2) 利用したことがない |
|---------------|---------------|

15 日本学生支援機構の制度についてお聞きます。(ア)～(ウ)について、それぞれあてはまる欄に○を記入してください。

(ア) 繰上返還制度(返還期日がきていない将来の返還分の一部または全額を繰り上げて返還することができるしくみ)

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|----------|
| (1) よく知っている | (2) だいたい知っている | (3) あまり知らない | (4) 知らない |
|-------------|---------------|-------------|----------|

(イ) 一定期間延滞した場合の個人信用情報機関への登録(登録は「個人信用情報の取扱いに関する同意書」提出者のみ)

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|----------|
| (1) よく知っている | (2) だいたい知っている | (3) あまり知らない | (4) 知らない |
|-------------|---------------|-------------|----------|

(ウ) スカラネット・パーソナル(インターネット上で自分自身の奨学金に関する情報や登録されている内容を閲覧したり、転居・改姓・勤務先変更等の届出ができるサービス)

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|----------|
| (1) よく知っている | (2) だいたい知っている | (3) あまり知らない | (4) 知らない |
|-------------|---------------|-------------|----------|

16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きます。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| (1) 必ず見る | (2) だいたい見る | (3) あまり見ない |
| (4) 見ない | (5) 届いていない | (6) その他() |

17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。このホームページの閲覧についてお聞きます。最もあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|------------|----------------|
| (1) おおよそ1か月に1回以上見る | (2) 年に数回見る | (3) 過去に見たことがある |
| (4) 見たことはない | (5) 見るできない | (6) その他() |

18 日本学生支援機構の奨学金に対してどのように感じていますか。(ア)～(オ)について、あてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

(ア) 日本学生支援機構からの情報提供は十分である

- | | | | | |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|
| (1) とてもそう思う | (2) そう思う | (3) どちらともいえない | (4) そう思わない | (5) 全くそう思わない |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|

(イ) 現在、奨学金の返還が負担になっている

- | | | | | |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|
| (1) とてもそう思う | (2) そう思う | (3) どちらともいえない | (4) そう思わない | (5) 全くそう思わない |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|

(ウ) 延滞への対応がきびしい

- | | | | | |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|
| (1) とてもそう思う | (2) そう思う | (3) どちらともいえない | (4) そう思わない | (5) 全くそう思わない |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|

(エ) 借りたものなので必ず返さなければならない

- | | | | | |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|
| (1) とてもそう思う | (2) そう思う | (3) どちらともいえない | (4) そう思わない | (5) 全くそう思わない |
|-------------|----------|---------------|------------|--------------|

(オ) 延滞している人への回収は強化すべきである

- (1) とてもそう思う (2) そう思う (3) どちらともいえない (4) そう思わない (5) 全くそう思わない

19 今までに奨学金の返還を延滞したことがありますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- (1) 延滞したことがない →問 21へ (2) 延滞したことがある
(3) わからない →問 21へ

20 問 19 で「延滞したことがある」と回答した方にお聞きします。(「(1)」または「3」と回答した方は問 21 へ)。

(ア) 延滞になったことをどこから知りましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) 機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知 (2) 機構(旧日本育英会)からの電話
(3) 連帯保証人・保証人からの連絡 (4) 口座残高を確認して
(5) 親・家族等からの連絡 (6) 債権回収会社からの連絡
(7) その他()

(イ) 延滞をどのように解消しましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) 本人が延滞額を支払った(口座振替を含む) (2) 本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)
(3) 返還期限猶予が承認された (4) その他()

(ウ) 延滞した場合の返還方法は主に払込票(銀行・郵便局窓口)によるものですが、延滞をより早く解消できたと思われる返還方法はありますか。もしあれば、あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) リレー口座からの引落とし(延滞額の一部でも) (2) 機構の口座への振込
(3) 払込票(コンビニ払い) (4) インターネットバンキング(振込)
(5) 債権回収会社 (6) その他()

21 日本学生支援機構の奨学金は主にどのように役立ちましたか。あてはまる番号に全て○をつけてください。

- (1) 奨学金のおかげで進学が可能となった (2) 修学費に充てる金額を多くできた
(3) 家計の負担を軽減できた (4) アルバイトの時間を減らすことができた
(5) その他()

22 日本学生支援機構の奨学金制度について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

この回答用紙および同封の返信用封筒は、個別のご相談にはご利用いただけません。
○ご相談、お問合せは「奨学金返還相談センター」までお願いします。
電話：0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)
月曜～金曜・8時30分～20時00分(祝日・年末年始を除く)
ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。
日本学生支援機構ホームページ < <http://www.jasso.go.jp/> >

ご協力ありがとうございました。